京城日報

十日夕刊

不定 紙價 一部金二錢五厘一ヶ月金五拾錢（郵送料前金）一ヶ月金六拾五錢三ヶ月金壹圓九拾錢六ヶ月金參圓七拾錢▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢▲雜報欄内一行金壹圓▲場所指定一行金貳圓三拾錢▲三號活字の一行は二號活字同樣▲六號活字の一行は五號活字同樣
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社 電話番號 編輯（四五番）營業（三三三番）總督府（二六番）振替貯金口座 京城三〇〇番

寺内内閣の組織　京城日報

東電の報ずる所に據れば、本月四日、内閣組織の大命を拜したる、我が寺内總督は、昨日他の各大臣の任命と同時に、内閣總理大臣に任命せられたり。吾人は、該報に接すると共に、多年其の治下に在りし我が朝鮮に於ける内地及び鮮人が、寺内總督の爲に、其光榮を祝すると同時に之を以て自己の光榮となすの感、禁ずる能はざるの狀あるを見る。

寺内總督の朝鮮統治の任に在る、既に六年。從來の弊政に苦しみし鮮民が、總督政治の下に、如何に其生を安んずるに至りしかは、今更申すまでもなき所にして。其生を樂むの結果は、貯蓄心の增進となり、向上心の發揚となり。鮮人の心理狀態に、全く一變化を與へたるものゝ如く。其他、文獻の進步、產業の興隆、交通機關の發達等、萬般進步の急速なる、實に驚くべきものあり。昨年當地に於て開かれたる共進會は、其の精華を鍾め、其の現狀を縮寫したるものにして。該共進會を一見したるものは、朝鮮の如何に開發進步せるかを知りたるべし。蓋し總督政治の第一步は、昨年の共進會を以て、段落を了りたるものと稱するも可也。古人は稱す、三年其績を考ふと。寺内總督の其任に在る、其年數を以てすれば即ち之に倍するものにして。而して其間に於ける治績は、即ち上述の如し。聖鑑總督の身に下り、遂に大任を拜するに至りたるもの、蓋し偶然にあらざる也。寺内總督亦た、匪躬蹇々、聖明の値遇に奉答する所あるべきか。

吾人は、寺内總督の陞任を祝すると同時に、朝鮮統治と云ふ點より謂へば、大に惜別の情なき能はず。然れども朝鮮統治の方針は、既に確定せり。向後の要務は、唯其の方針に則り、其の進步を圖るに在り。寺内總督其任を去ると雖も、遙かに大鈞を秉る。新總督其人を得るに於ては、單り朝鮮統治の遂行に過なきのみならず更に舊來の方針に準據して、一步を推拓する亦難しとせざる也。而して民間に在る日鮮人、亦た斯心を以て心となし、以て努力を怠るなくんば、鮮地向後の開發進步、亦た期して待つべく。而して是れ亦た寺内總督の素志に酬ゆる所以也。

◎吾輩の寺内内閣觀

東拓副總裁　野田卯太郎氏談

寺内新内閣が組織された、吾輩は前途のある内閣として其の出現を祝するのである、内閣制の確立以來寺内内閣は僅か十八代目と思ふが總理大臣が其の辭表を閣下に捧呈せる當日でないと思ふ、新内閣は其の間の經過非常に敏速で吾輩の如き頗る

▲痛快の感 に堪へなかつた又既往に於ける内閣中大命降下後五日以内で組織されし事は絶無に非ざるも事實僅有である、此點に於て譬に新内閣は歷代の内閣に比し超越せる點を發見する、これ寺内伯の幸運なる爲めか若くば其の手腕の非凡な故である乎、兎にも角にも新内閣の踏み出した第一步は

▲お手際美事 と云はざるを得ない、尤も其の顏觸を世間一般より觀れば上出來との評語は下し難いかも知れぬ、或は露骨に其の貧弱を稱する者も出で來るであらう、然し吾輩はアレでよいと思ふ、總て世の中の事は何にあれ初めから終りまで上々吉の首尾を得る事は難しい、殊に内閣の如きは然りである、方今世界の大勢を觀るに時世は走馬燈の如く變化し急轉直下してゐる、此時に當り内閣を組織し遠大の抱負を實行しつゝ彼岸に達する迄の間に國政の運に上内閣に缺陷ありと悟る事けば必ず出で來らう、其時は必要に依り改造すれば結構だ、然り閣員の入れ替へを行なひ人心を新にして行けばよいのである、吾輩は此の意味より寺内新内閣の前途は大に

▲餘裕綽々 たるものあり、又終りに臨るに從つて益々揮ふべく、又伯も其の覺悟であらうと信ずる、『初は處女の如く終りは脫兎に似たり』と云ふ諺がある、吾輩は寺内新内閣に對し此の俚諺の如からん事を望む新閣員に對する『上げ下げ』は御免を蒙りたい、但し一言苑を加ふるならば、先づ第一に大藏大臣の首相兼任は最も妙で何等不都がるに當らぬ、今寺内伯の下に大藏大臣として帝國財政整理の衝に當る威望あり手腕ある適材は一寸見出し惡い、乃ち

▲寺内伯の兼攝 となれば實業家の如き恐らく伯に對しては推讃の辭を吝まざるべく、而して事實上の事務は伯の信頼する勝田主計氏を次官に擧げ其の縱橫透徹適くとして可ならざるなき手腕を自由に振はす事は敢て何等朱點を打つに及ばぬのである、副總理格たる後藤新平男の内務大臣も寺内内閣として適材適所と稱して可、對政黨關係や其他錯綜せる事情により前途に障碍少なからずと思はるゝ新内閣の内相には此人の勇氣と力量と見識を必要とするであらう、外務大臣の本野一郎子は最も適任だ、日露兩國親善の度々進み來れる今日子の如き露國上下に受けのよい、又何方にも圓滿な外相を迎へる事は喜ばねばならぬ、斯なければならぬと思ふのは内相の鐵道院總裁兼任である、後藤男は鐵道に對する經驗趣味共に深く實に鐵道院の創始者で又第一次總裁の椅子を遞信大臣兼任として占めてゐた、後藤男の次ぎは原敬氏が内務大臣として統攝したのである、元來日本の鐵道を經理擴張理想的に

▲鐵道政策 を行つて行くには其の主腦者に有力な國務大臣を迎へねば駄目である、何となれば鐵道の經營は一にも二にも金が要る、其の豫算を多く割取するには閣議に於て發言權を殆んど有せぬ專任鐵道院總裁では誠に遺憾の點が多い、床次竹二郎、仙石貢、添田壽一各歷代の專任總裁は手腕力量必らずしも其の任を恥づかしむるものでない、然し其の專任總裁を置くやうになつて帝國鐵道事業の撤々として振はざるは何故である乎、必らずしも識者を俟つて後知る事でない

▲自余の閣僚 乃ち農商務大臣仲小路廉、遞信大臣田健治郎兩氏の如きは大臣としての手腕は十分である、但し其の政敵は少なくない、松室致氏は世間的に汎く知られてないが法相として貶毀に毫も不足はあるまい、文部の岡田良平氏は恐らく上院研究會より入閣して一椅子を占めたのであらう、有松法制局長官は山縣公の寵兒、兒玉伯の内閣書記官長は寺内内閣の附き物と云ひ得べく此人でなくてはなるまい、岡田警視總監は吾輩其人物を知らぬ唯氏は以前警視廳の官房主事をしてゐたと云ふから其の流れの人ではあらう

◎大隈前首相へ御沙汰

九日午後五時畏き邊りより大隈侯へ左の如く御沙汰ありたり（東京特電）

卿夙ニ國事ニ盡瘁シテ大政ニ維新ニ參シ贊襄協輔シテ以テ朕カ身ニ及ヘリ今乞フ所ヲ允シテ閑ニ就キ老ヲ養ハシム卿夫レ加餐自愛シテ尚ホ朕カ意ニ稱ハンコトヲ勉メヨ

◎陸海兩相に御沙汰

九日午後二時畏き邊りより陸軍大臣大島健一海軍大臣加藤友三郎の兩氏へ對し左の如く御沙汰ありたり（東京特電）

方今機務多端ナリ卿宜シク留任蹇々節ヲ效ス可シ

◎汪氏の外交總長辭退

外交總長問題は汪大燮氏幾度か人を以て段總理に辭退を申込み近く國會を通過す可きも就任を肯ぜざる意嚮を示し行惱み居れり（北京電報）

◎大西洋大恐慌

獨潜航艇二汽船を擊沈す

獨逸潜航艇ウー五三號は八日午前五時米國汽船カンサン號に停船を命じたる後同九時前後ナントケット島砲臺沖十哩の點に於て、軍需品輸送中なりしボイント號（二千四百十三噸）及びストラテイン號の二汽船を擊沈したり、前者は倫敦より米●●●●●●●●●國に到著せんとしつゝありしものにて、後者はボルドーに向つて七日紐育●●●●●●●●●を出發せるものなり●●●潜航艇は擊沈に先ち乘組員を端艇に乘り移らしめたるがニユーポート軍港にては無線電信にて此報に接するや驅逐艦ジヤヴイス號は居合せる水雷艇三十隻を以て救助隊を組織し之を率ゐて直ちに現場に急行し先づストラテイン乘組員全部二十名を救助し目下引續きウエストポイント乘組員三十名の救助に從事し居れり、目下大西洋航行中の汽船は乘客船荷物船を合せて二十隻なるが獨潜航艇出現の報に接し大恐慌を惹起し居れり恐らく敦賀丸も英國より目下紐育に航行中なるべしと思はる果して然らば同船も遭難の惧ある可し（紐育電報）

◎獨逸と媾和運動打消

伯林來電＝獨逸當局は決して獨帝より媾和運動を開始し米國に對して如此依頼を爲さずと絶對に打消し居れり（紐育電報）

◎嵯峨艦の撤退

海軍省は廣東派遣の軍艦嵯峨に撤退歸航を命ぜり（東京電報）

◎檢閲使に御陪食

海軍特命檢閲使一行に對し十日宮中に於て午餐陪食を仰付けられたり（東京電報）

◎閑院宮奉迎送

閑院宮殿下は十二日朝安東驛御通過釜山に向はせらるゝに付き山縣政務總監、古海總務局長、高橋武官等は十一日朝南大門驛發汽車にて安東驛に奉迎夫れより釜山まで扈從奉送の筈なるが立花師團長も平壤より政務總監一行に加はる豫定なりと

◎驛頭の奉迎送

閑院宮殿下は既記の如く十二日午後八時五十分特別列車にて南大門驛御著同九時十分御發車相成る事となれるより總督府並に所屬官署高等官は同刻南大門驛に奉迎送す可き旨十日夫れ〳〵其の筋より通牒ありたり

◎首相祝電答禮

山縣政務總監は總督府職員一同を代表し九日午後寺内首相に對して就任の祝電を發したるに寺内伯よりは直ちに御厚意を謝す一同へよろしく御傳言を乞ふ旨の返電ありたり

◎政務總監訪問

山縣政務總監は寺内伯の内閣組織に伴ふ總督辭任に關する言傳を齎らし遠藤秘書官藤波通譯官等を隨へ十日午後三時總督府出門昌德宮德壽宮兩宮に李王並に李太王兩殿下を訪問せり

◎（農業）技術官會同

總督府にては十一月二十七日より十二月三日まで總督府第二會議室に於て農業技術官會議を開催することゝなれり其の日程は未定なるが參列者は各道農業技術官並に勸業模範場技師等總員二十名の外總督府よりも農務課技師一同列席の筈なり

◎救恤金と調査

八月上旬江原道管内に於ける水害の趣き天聽に達するや天皇皇后兩陛下には罹災民の困憊を愍ませ給ひ其の救恤資金として金九百圓御下賜の御沙汰あり宮内大臣は七日其の旨總督府に通牒ありたるより同府にては直ちに其の趣を江原道長官に傳へたるが之が配付方に就きては目下内務部に於て標準を調査中なれば出來次第送達配付の事となる可し

◎製煙輸入不振

鮮内煙草界の殷賑に連れ製造煙草の輸移入は年を追ふて不振の傾向を示し來れるが八月中の如きも製造煙草の輸移入は口付紙卷煙草七十八萬五千本、兩切紙卷煙草三十五萬二千本、葉卷煙草四萬九千本、刻煙草二千八貫にして價格合計一萬六百七十餘圓に過ぎず又た一月以降の累計に於ても其の輸移入價格は口附一千三百八十三圓、兩切四萬七千八百四十八圓、葉卷一萬九千五十圓、刻七千五百二十三圓、合計七萬五千七百八十三圓に止まり之を前年同期間に比すれば一萬千餘圓即ち一割二分の減退を見たり

◎鑛業出願激增

九月中に於ける鑛業出願件數は總計三百二十件を算し之を前月の二百七十件に比すれば五十件の激增を見たり而して其の鑛種は金、金銀鉛亞鉛、鐵黒鉛、タングステン等重なるものなるが出願件數は十月に入りて益々增加の傾向を來し今日迄に於て既に百數十件に達せる狀況なれば此勢を以て推移せば同月の出願件數は更に一層の激增を見るなる可し

◎佛國公債の條件

好個の投資物たらむ

第二回佛國公債募集の件に付ては昨紙記載の通りなるが今日佛銀行東京支店に就き其條件を聞くに利率は五分にして佛國政府は一九三一年一月一日以後は償還又は借換を爲すことを得る等の外申込價格に於て應募者は前回に比し多大の利益あり即ち第一回は拂込金百法に付八十七法二十五參にして其邦貨換算額は二十九圓八十二錢九厘なりしが今回は其の後佛國に於て該公債の騰貴したる爲めなるべしと思はるゝが佛貨支拂額は却て二十五參高額なれども日佛銀行東京支店は特に應募者に利益なる爲替換算率を提供し拂込邦貨は前回に比し却て約七錢の低價即ち新商百法に對し金二十九圓七十六錢の割にて申込を受くる由、目下英佛爲替の漸次回復と共に佛貨騰貴の傾向ある折柄此點は最も注意すべきところなり而して從前發行せられたる佛國公債が五分利に於ては曾て一八八一年に百二十一法廿參に騰貴したることあり今回の發行價格との間には百法に付約三十四法の差を見るのみならず今後爲替率が戰前の狀態に恢復するに於ては公債價格を同一にするも爲替差のみにて百法に付約五圓の利益を得べし之を前記相場の騰貴に依りて得る利益を合算するときは應募者の豫期し得べき利益は實に額面百法即ち二十九圓七十六錢●●●●●十七圓餘にして其割合五割八分に當れり●●●以て如何に好個の投資物なるかを知るに足らん

◎定例長官會議

十日は定例長官會議日なるより山縣政務總監以下各部長官局長所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合せの上午前十一時散會したり

◎西鮮演習終了

頃日來黄海道に於て行はれつゝありし秋季機動演習は愈々十日を以て終了し市川旅團長は演習地たる沙里院に於て同地方の官吏有志者在鄕軍人等を招待し沙里院俱樂部に於て慰勞の宴を催ふす筈

◎川村元帥動靜

元帥川村大將は九日午後三時三十分著列車にて來壤平壤驛には在壤の高等文官在鄕軍人府名譽職員等出迎へ留守步兵第七十七聯隊より一個分隊の儀仗兵停車場前に整列し海行かばの喇叭を吹奏し捧銃の式を行へり元帥は憲兵四騎の警衛にて柳屋旅館に投宿せり同夜大同館に於ける官民有志の歡迎會に臨めり（平壤）

◎工藤長官歸任

客月二十五日以來管内巡視勞々元山地方視察の途にありたる工藤平南長官は豫定の視察を終り九日川村元帥と共に午後三時卅分著列車にて歸壤せり（平壤）

◎仁川支那領事代理

仁川駐在支那共和國領事張鴻氏は今回其の職を免ぜられたるを以て代理領事張國威氏到著まで京城同國總領事館副領事黄宗麟氏其の事務を代理する事となれり

◎大邱組合議員留任

中學校問題に對し大邱組合議員は連袂總辭職を爲すべく辭表を竹崎管理者の手許まで提出せしが學校組合として目前に第二小學校問題又大正七年度に於ける中學校設置は全然望なきにあらず此際總辭職するは大邱の爲めに甚だ遺憾なりとし市民の重立ちたる人々は凝議の末夫々留任勸告を爲したる結果全部辭表を撤回し更らに中學校設立に努むべく圓滿なる解決を告げたり

◎廉浦普通學校閉鎖

廉浦公立普通學校は其通學區域中に惡疫流行せるため十日より向五日間學校を閉鎖し臨時休業を爲すことゝなりたり

◎鮮銀券發行週報

十月一日より七日に至る一週間の朝鮮銀行券發行平均高は左の如し

總發行平均高	三三、一九五、二四七圓
正貨準備發行	一〇、九一一、三〇五
保證準備發行	二二、二八三、九四二

北滿へ

勝村長城

◇安東縣より（八日）

今朝國境を越えて候、空は少しく曇りたれども、鴨綠の水は秋の色に澄み渡り候。江畔の柳に渡る秋風白く身に泌み渡り候、茲も新義州に虎列拉發生の爲め檢疫嚴重＝出發地＝行先地等を詳問せられ候、朝鮮方面よりの旅客は、別客車に乘せて特種扱ひとす、驛にて小川鴨江主筆、嘉納安東理事、川俣通信員達と會談す。

多が住む長白山より絶わず〳〵寒さを流す鴨綠の水

◇安奉線車中より（八日）

内地及び朝鮮よりの連絡旅客は、等級なしに二等室の隔離列車に收容せられ候、而しながら丁度連絡客は各等を通じ僅かに七八名のみに候らへば、寛々として却つて有難く存じ候隔離列車には防疫警官二名同乘して旅客の妄りに各驛に降るを許さず、又各驛より此の車室に乘込まんとする者に『コレラだ〳〵』と注意を與へ居り候、朝鮮から來た人達の隔離列車と聞きて、沿線より乘込まんとする旅客は鼻を摘んで逃げ行く有樣ながら避病舍扱ひに御座候。安奉沿線の山々は燃ゆるが如き紅葉にて徒然の目を樂ましめ候、殊に南滿の馬溪の稱ある釣魚臺附近の秋色は筆舌の及ばざる處に御座候。

◇奉天より（八日）

防疫隔離列車は、午後六時に奉天に著し候、滿鐵の防疫は甚だ徹底いたさぬものにて候、列車中のみ嚴重に吾々を隔離し、防疫警官及び檢疫醫等絶えず車中を見廻り候へど、奉天驛にては別段の檢疫もなく、其儘市中へ放され申候、月替りて風寒く多服の上に外套を被て丁度いゝ位の溫度に御座候。驛には演習集合の兵士群を爲し居り候、九時長春行列車に投じ候。

◇長春行列車より（九日）

北さして渾河を渡る汽車の鐵月の曠野に鳴り渡りつゝ

奉天より滿洲日々の矢橋君等と同行す、公主嶺又は長春に赴く何れも領觀戰記者の人々に御座候、開原以北より全く大陸的となり、海の如き曠野に秋月皎々と照り渡り申候、公主嶺にて二等客車を一寸覗き候處ニ室の二等客車は何れも、無賃乘車の滿鐵下級社員と支那人とにて滿員、下級社員の女房共がすさまじくイガミ合ふ有樣は淺間しく存じ候三等は苦力の支那人が鮨詰めに御座候

人事

▲茂木三郎氏（鐵道院旅客課長）十日朝新義州へ
▲金谷正生氏（金谷ホテル支配人）同上
▲山口路一郎氏（富士屋ホテル支配人）同上
▲酒井順一氏（新義州ホテル支配人）同上
▲井上武夫氏（京都ホテル支配人）同上
▲阪倉正太郎氏（レイキサイドホテル支配人）同上
▲濱口字之介氏（都ホテル支配人）同上
▲中村伊津吉氏（奈良ホテル支配人）同上
▲新井秀雄氏（日光ホテル支配人）同上
▲鈴木伊三郎氏（山陽ホテル支配人）同上
▲松田清四郎氏（三笠ホテル支配人）同上
▲野澤氏（築地精養軒ホテル支配人）同上
▲濱田親氏（旅順ホテル支配人）同上
▲林愛作氏（帝國ホテル支配人）同上內地へ

全南海南より

千畝生

全羅南道南海岸一帶の稻作は水害もなく害蟲もなく山間陳田に植ゑ付けたるものにて尙ほ且つ三四石を穫れる所あり平野も一帶に宜ろしく特に近來の好天氣にて充分成熟を全からしめ得べく前年に比し約一割五分の增收ならんとて農家は皆喜び居れり拙詠一二御笑覽に供し候

みのりある秋ぞめでたき小山田も野田も黄金の波ゆたかにて

稻刈にやからはいでゝ賤の家のかきね寂しくコスモスの咲く

朝鮮機動演習觀戰記 (二)

十日午前一時 沙里院にて 三好特派員發

▲疲れた身を草原に横へて 戰の後―兵士の感想―眠いばかり

中成陵附近の突擊戰が濟んで兩支隊の將校一同が中成陵高地にある統監部に召集されて市川統監、立花師團長の長い講評を聞いてゐる時である殆んど不眠不休の五日間、南は興水附近から北は黃州附近まで、廣漠として際涯の無い黃海道の

◆大平野を縱横に 引廻された兵士の勞苦を慰め、且つは一段落を告げたる演習のあとの士卒の落ついた休養振りを觀ようと思ひたつた私は中成陵の丘を取卷いて、到る所の野原に寢轉んでる中隊を廻つて見た、前日來の雨が歇がつて此の日は特別に暑い日であつたにも拘らず疲勞の極點に達したらしい兵は少數叉銃の番兵を除く外は草原、路傍の差別なく立てゐても汗の滲むやうな強い太陽の直射を受けながら宛かも擊たれて死んだ者のやうにゴロ〳〵と轉がつて寢息を立てゝゐた。彼等が纔かに與へられた休息を、

◆炎天の下に假寢の夢を結ぶといふ事は彼等にとつて何より貴重な時間を費消する最も巧妙な方法なのである。試みにまだ眠りやらである兵士の傍らに腰を下ろして「演習中何が樂しみかね」と聞いて歩くと、殆んど言ひ合はせたやうに「飲むより喰より、恁うやつて寢るのが何よりの惡癖ですよ」と言ふ、尤もな事だと思つた。平壤なり龍山なり聯隊本部のある所にゐる兵は平素の教育が十分なので可なり強行の動作に耐え得るが各地に駐劄してる守備兵で演習に參加した兵に至つては

◆氣の毒な程疲勞の模樣が見ねて困るしさうである。今回最も多く疾病者を出したのも守備兵であるさうだ、然し絕へず注ぎ込まれてる軍人精神は困苦に遭ふ程發露されて甞つて苦痛を訴へない。そして演習は彼等自身の重大なる任務の經驗として餘程眞面目に考へてゐるらしい。『吾々が怠けると隊長殿が困るから――』とは私が聞いた多くの兵の言葉である。隊を愛し隊長を敬ふ眞摯な精神は軈がて國家を衛る本分に光輝を添ゆるものである。講評が終ると

◆將校連はゾロ〳〵と隊に歸つて來た、そして隊を纏めると疲れた足を引摺り引摺り露營地に引上げて行つた。兵が休んでる間を立ち通しで講評を聞かされ、それが濟むと或る行動に移らねばならぬ將校の任務もなか〳〵辛らい。騎兵や砲兵は馬に水を與へたり脚を擦つてやつたり吾身の樣にしてゐるのも美しい心がけだ。十二時頃立花師團長は山の中腹の草の上に腰を下ろして參謀副官と共に辨當を開き市川旅團長は獨りで新築の幕舍に歸つて重荷を一つ下ろした樣に毛布の上に胡座を組んで固パンを嚙つたりしてゐたが他の士卒の顏にも稍安心の色が見ねて『明日の旅團演習さへ濟めば――』といつた樣な一種の和氣が漲つてゐた。(演習の終つた九日の正午中成陵にて)

▲十日旅團演習 終つて野戰的大饗宴

十日は九日午後より新幕附近に露營せし步兵第七十七、七十八の兩聯隊が早朝より行動を開始し市川第三十九旅團長之れを指揮して同じく九日午後より沙里院附近に陣地を占領して露營しつゝありし荒井中佐を指揮官とせる假設旅團に向つて攻擊を開始し右終つて愈々秋季機動演習を結了すべく然して演習後市川統裁官の講評、立花師團長の講評あり午後三時より沙里院俱樂部に野戰的饗宴を張るべし

▲廿里も汽車にのつて見物に來た 演習を見て感心するやら悅ぶやら

五日以來沙里院を中心として行なはれた第三十九旅團の聯隊對抗演習も愈々九日を以つて終了したが今回の秋季演習に就いて此の地方に於ける內鮮人の

▲軍隊に對する 態度は頗る親切を極め且つ熱誠が溢れてゐた事は啻に軍隊に好感を與へた而已に止まらず軍隊の行動に尠からぬ利便を提供した事も甚だ鮮なく無かつた、軍隊の宿營した地方例へば沙里院の如きは戶數內鮮人を合して四百戶內外なるにも拘らず官民の殆んど全部がその居宅を割いて宿舍に當て、極力之れを歡迎し亦その他の地方に於ける露營地、通過地、演習地等にあつても郡廳憲兵駐在所、在鄉軍人、地方有志等自ら進んで盡力斡旋に奔走し何の村落にても常に國旗を揭げて

▲軍隊の來著を 歡迎したのは注目に値すべきものがあつた演習の當初から見學を兼ねて取締りのため軍隊と行動を共にしてゐた載寧憲兵分隊長高田大尉の談によれば朝鮮人にして演習を見物すべく十里四方の地から汽車を利用して態々演習地附近に見物に來る者が甚だ多く中には二十里も遠方から來た者もある是等の事實に徵して見ると軍隊に對する地方人の恐怖といふが如き事は餘程以前の過去の物語りとなつたに過ぎず今日では前記の如く親しみを持つて接する樣な傾向になつたのである、唯

▲甚だしき僻地 の者の一部が逃げ出さうとしたやうな事もあつたが憲兵の說明で漸く今日の軍隊の何物なるかを知り安心したさうである却つて人夫の雇ひ入れとか薪炭、秣馬糧の買ひ入れ內地人側にあつては日用軍需品の購入その他の點に於いて演習費が大分撒布された結果非常に好影響を受けた者が多い、兵士個人にしたところが嚴しい規律の下に絕へず注意を受けてはゐるもの、地方の人に對して些しも粗暴不遜な擧動が無く然かもよく命を奉じて職務に盡してゐるので却つて內地人は勿論朝鮮人からも

▲尊敬を受けて ゐる、斯うして軍隊と地方民とが親しく接近してゆく事の實際を今回の演習によつて暫く了解せられたのであつた

◆賑かな共和記念祭

十日は中華民國の共和記念祭、明治町の總領事館から華商總會各商店始め支那の家々には五色の國旗が秋風に飜つて居つた、在京城の支那官民は總領事を始め一同華商總會に祝賀式を行ひ次いで領事館內にも式を擧げた、學校では午前九時から記念日の式あり、各商店も業を休み何れも新らしい晴衣でニコ〳〵ものであつた、此の日北京では黎大總統の閱兵式あり支那の各地とも盛んに五年前の南京政府成立の當日を記念する由である

◆忽滑谷老師の八面鋒 人間が眞面目にならねば ならぬ時が來たのぢや

菊日和の十日午前、若草町曹洞宗別院に忽滑谷快天老師を訪へば老師は今し講演の最中であつた、と見れば茶色の袈裟に眼鏡を光らせた老師の下には卅有餘人の全鮮曹洞宗布敎師が居並び、講演は禪學の歷史のやうなものであつた『……その手燈といふは正しくあつたとで曾て日露戰役中にも東京のある講演師が行つて居た、その男は大戰の始まると共に左手の掌に油を注ぎそれに燈心を入れて火を點すのである

圖お終いには左手が 火傷で燒け爛れて 居たがそれでもお國の爲めを思へは何でもないと言うて居た、……それから臂を剉むといふともむかしの人はやつたのである、支那の泰恭といふのが華嚴經の講義を聽いて臂を斷つたとあるがこれは左までお芝居ではないのである、むかし眞面目の人間が眞當にやつて來たのである……』といふやうな猛烈なお話しでお終ひとなつた、それから老師に一つお談しを願ふと諾とばかり改まつて曰く『抑も國の亡びる時は人生の三つの大切なものが失はれる、三つのものとは何ぞや、曰く宗教と道德と經濟とである、よく衣食足つて禮節を知るといふが衣食足るは經濟である禮節を知るは道德である、心だにまことの道にかなひなば祈らずとても

圖神や護らむといふ まことの道は道德 であるが、祈らずとても信念である故に一方は經濟から道德に入り、一方は道德から宗教に入る、三者相離るべからざる譯合である、例へば茲に不道德なことをする者あれば警察、裁判、監獄の不經濟な設置が要り從つて國家の經濟が發達しないこと、なる、由來朝鮮は此の宗教、道德、經濟の三寶を失うたからこれまで委靡振はなかつたのである、この邊は大に改めたいものであるまた詒は我國に商業の發達しないのは國民の公德心が足らぬからではなからうかと思ふ兎角日本人は私德に厚いことは世界一であるが何うも公德に缺けて居る、親子兄弟知人には非常によくするが見ず知らずの他人には實に不親切で他人の迷惑を何とも思はぬ風がある、これは大に不可ないことであると思ふ、それに詒が經濟のことを力說する所以は從來我國に於て

圖此の人生に於ける 大切な問題が等閑 に附せられて居たからである、經濟上の獨立が無ければ、個人としても國家としても駄目である、この邊は大に考へねばならぬと思ふ』次に朝鮮初見物の所感如何と尋ぬれば『第一釜山に上陸して貧弱な禿山を見て不愉快に感じた、次は頭の悶へるやうな倭少な家屋を見てこれでは駄目だと思つた、山の禿て樹木に乏しいのは住民が目前の利益のみを考へて大切な天然を利用せぬところから起つたことぢや、英國あたりの靑い茂つた山に牛や羊の遊ぶのを見て朝鮮の山を見ると實になさけなくなるぢや、次はまた南大門驛頭の混雜である、凡そ世界中に

圖此の位ゐ無秩序な 無規律なる國民が あるものか、あれを見ると各自がわれ勝ちに先を爭ひがや〳〵〳〵と喧噪を極めて居る自分もつく〳〵これでは困ると思つた……』よい方は聞けばお世辭は他の人から訊けと許りはねつけられる、さて又老師は語を次いで曰く『禪學もだん〳〵擴まつて來た、人間も眞面目にならねばならぬ時が來たのぢや、先日も拙著『サムライの宗教』を倫敦から發行したところ外人の評判がよいやうだ、から外人の間にも幾分か佛敎を解して來るものが出來よう、元來哲學及び宗教は東洋が優れて居るとは言ふまでもないことで彼の耶蘇敎に於ける汎神主義の如きも日本にはむかしから在つた思想である、また近く英國のキャンベル氏が著した『新神學』の如きも從來曹洞宗のお經にはざらに說いてあるところ、猶ほ又先般米國のエリオット博士が新らしい宗教上の意見として說いた思想もわれ〳〵から見れば新らしくも何ともないものである』

◉脫獄して 蘆の中に一晝夜

福岡縣筑紫郡春日村生れの井上關太郞(三)は窃盜犯の廉にて懲役三年の處分となり永登浦分監に服役中八月三十日午後四時頃構外にて作業に從事し居れる內看守の隙を覗ひ豫て用意しゐたる鐵の鉤を以て鎖を取外し囚衣の儘逃走して姿を晦まし同夜は飲まず食はずにて蘆の中にて一夜を明かし囚衣は脫ぎ棄てゝ全身に泥を塗りて黑奴となりたる上又も衣類を窃取して著用し京城に流れ込みて目下工事中なる南大門通りの道路修繕人夫に潜り込み何食はぬ風を裝ひ從業中を八日龍山分隊の衛藤刑事に發見されて引致さる

◉賊はカーキ色服を著せる九名の一團 輸送馬車襲擊詳報

十月六日午後二時半頃平安北道寧邊郡八院面龍頭洞にて雲山所在東洋金鑛株式會社の輸送馬車が賊徒に襲擊されたることは近來の椿事として取敢へず報道せしが龍頭洞は寧邊郡邑內へ二里半博川郡邑內へ五里半を隔つる山間の一部落にして

▲強盜團の出現 したる場所は兩側とも山地にて稍勾配ある坂路なりしが一行は同日雲山中里驛より金山事務所への歸途を遮擊されたるものにて馬車二臺の內前車には紙幣銀貨銅貨取り交せ

▲現金約十萬圓を積載 し居り外人三名支那人二名、乘車し馬匹八頭を以て牽かせ、後車は貨物を積み馬四頭を以て之を牽かせ騎馬巡查二名、內地人一名乘込み居たりと、而して強盜團の一部はカーキ色の洋服を著し全部九名位にて單發

▲村田銃五挺を 携帶しゐたる模樣にて輸送車の通り蒐ふを見るや兩側より不意に亂射したる爲め前車の乘員中なる外人一名は即死し他の二名は重傷を負ひ後車は西岡巡查重傷(七日午前四時過死亡)及び內地人一名も負傷し支那人一名即死、馬匹四頭の內一頭即死、一頭負傷するに至れるなりと襲擊と見るや一行も携帶せる銃器を以て應戰し

▲何分不意打ち のこと、て殆ど全滅に近き危急に瀕し賊の一團は一行の抵抗力を失ひたるを見澄まし直ちに積載物を切開きて檢したるが幸にも現金積載の前車は其瞬間に馬匹も倒れよと急驅して辛くも虎口を免れ得たる次第にて爲めに現金には何等の被害なかりしと、目下平安北道警務部にては管下の各警察に嚴命し極力犯人の行衞を搜索中なり尙當日埸檢事は現場に急行して檢證をなしたり

コレラ彙報

▲備後丸に發生 臺灣航路郵船備後丸は九日午後三時門司に著せるが門司上陸の一旅客は疑似虎列拉に罹り同船は停船を命ぜられ目下患者の檢疫中なり(門司特電)

▲龍山に眞正 龍山元町三丁目李永俊妻朴姓女(四八)は九日發病疑似患者として順化院に送りたるが眞正と決定して十日午前死亡

◉新羅丸に怪しき患者發生 關釜連絡船新羅丸十日朝下關入港に際し船員に虎列拉患者らしき者ありとて目下門司港口に碇舶し門司港務部より醫官臨檢の爲め同船に赴き居れるが若疑似虎列拉とするも檢鏡に一日を要し多數船客の迷惑尠からず(門司特電)

▲患者を連れて徘徊 龍山分隊管內麻浦宋君燁二男鎭龍(二)は八日虎疫の疾狀あるを以て君燁夫妻は鎭龍を連れ水原へ逃走を企てたるも果さず已むなく軍浦埸より引返したるに麻浦は警戒嚴なる爲め自宅へ立入ることを得ず同夜は附近の山中にて一夜を明かし翌九日京城に來らんと竹添町三丁目を鎭龍には布片を被せて顏を蔽ひて通行し蒐りたるを豫てより鍾路警察署にては同方面よりの入京者に對して嚴重取締りの爲め醫師警官の看視所を設けありたる程にて途に發見されて檢診の結果コレラの症狀判然し取敢へず疑似患者として九日自宅に追ひ還したるが十日愈〻眞正と決定したり

讀者文藝 (一等には五十錢の甘味券を呈す)

△物は付「不味いものは」

○持つて歸つた辨當飯(一等) 京城西大門官舍 一之瀨繁吉

▲名物と手前味噌 龍山 通 吹子

▲伊勢屋の御馳走 同 岡本小草子

▲強いて食ふ飯(兆) 釜山 川 俠 生

▲冷めた湯 永登浦 金 物 生

課題及び募集規程は欄外にあり

◉忽滑谷老師講演 十日夜まで府內若草町曹洞宗別院にて講演中の忽滑谷快天老師は十一日十二日の兩日龍山觀町瑞龍寺に於て講演を試み更に十三日十四日の兩日京城大和町遞信局官舍上の曹谿寺に於て講演を試むべしと

神社とお寺と敎會

○本能寺(水標橋通)には十二日午後二時と夜間八時から定期說敎で何れにも如呂講師の講話敎がある筈

○國柱會京城局(初音町)十日午後七時より日蓮聖人御法難會の報恩法要を嚴修し後右の講師の法話あり

○曹洞宗別院(若草町)十日午後二時より說敎及び大施餓鬼ありたり尙は午後七時半より忽滑谷快天老師の禪學講演あり

○平壤神社秋期祭典 來る十七日は平壤神社の秋祭なるが當年は例年より一層賑々しく執行する由にて十六日午後六時より本社前夜祭を執行し十七日午後一時より本社例祭を執行し平壤府尹及び名譽職員氏子總代等參拜すべく御本社境內に於ては擊劍角力素人相撲等あり夜に入り機神社に於て煙火の打揚あり又市內は宵宮の午後より高張提灯及び國旗を揭揚し各町々に於て種々造物又は餘興等ある由(平壤)

―△會のいろ〳〵▽―

○高女學藝會 南山町公立高等女學校にては來る十四日(土曜日)學藝會開催の筈

○天理敎會(西龍山)十一日午後二時より秋季大祭執行

○平壤運動會 平壤公立尋常高等小學校の秋季運動會は十五日日曜日開催

○淑明女學校豫防注射 十日午後より全校生徒に對し第二回豫防注射を施行したり

◉算盤で毆る 廣島縣豐田郡大乘村生れ龍山漢江通十三番地居住鍛冶工上河內庄次郎(卅)は內緣の妻まさと共同にて[illegible]町二丁目[illegible]事に相談整ひたるに本年六月十四日まさの不在中庄次郎は同[illegible]に押上り營業用の帳簿を取出して勝手次第に[illegible]たる一件は九月四日京城地方法院に[illegible]金三十圓の判決となりたるを不服とし京城覆審法院に控訴したるも[illegible]

[illegible]ろを以て金良埸消防組消防手親睦市金顯周、朱漢植、蔡東玉、金聚國、尹東萬等は濁流と戰ひつゝ同橋の流失を防止したる功勞を以て[illegible]

[illegible]一等 [illegible] 二等 渡邊鶴信、日野二郎、御手洗省三、國眞[illegible] 外人[illegible] 古萱、石山せき、鐵田茂三郎、岡本吉松、矢野利[illegible]

讀者文藝課題及募集規程

圖課題 △物は付「不味い物は」 締切十[illegible]日 發表十[illegible]日

圖募集規程 △用紙は端書又は型同の洋紙[illegible]毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事 △贈賞は一[illegible]

天氣

晴れ一時曇り △十月十一日 (十一日午後六時より十二日午後六時まで)

[illegible]

皐緒製造 內職 吉川合資會社皐緒工場 東京市下谷區中根岸町八十一 (振替東京三一二〇四番)
下駄の皐緒は日用品にて販路廣大なれば確實有望な事業なり男女共自宅で出來仕事簡易にて練習次第一日三四十錢の利益あり小資本にて就職さ 年中仕事あり製品は取引す洋細の製造案內及見本等は切手十二錢で送る

◉男女共に適する新職業◉
帝國健全哲學館大學教授科目中の哲理治療法一ケ月速成教授を爲す
◎高尙にして社會に有益なる新職業を要望せらるゝ士女は來れ
◎卒業生には本大學と同資格を授く規則入用の者は端書にて申込め
釜山府大廳町一丁目三十番地 帝國健全哲學館大學分館 朝鮮健全哲學館 館長 哲學士 江藤旭洲
◎本館所設の學理を保證のため一般病者の治療を爲す
◎諸藥効なく新藥禁厭も驗しなき難病患者は來れ
◎飲酒喫煙其他一切の惡癖に苦しむ者は來れ
◎遠隔の地にして直接治療を受け難きものに對しては遠隔治療を爲す
◉疫病撲滅惡癖矯正◉

帽子專門 田村商店

旅獵の好機來れり諸般の準備整ふ陸續御光來の程投宿希上候
京義線新幕驛前 御旅館 甲陽館
新幕貿易並委託品賣買 小澤秀

メリヤスト毛布
京城 丸一綿部

東京竹內製金庫の堅牢確實なるは既に世に定評あり

◎金庫を使用せざる人は財寶を貴ばざる人なり
◎財寶即ち生命なり金庫は遺憾なくこれを保護す
特約販賣店 和洋金物商 鬫釘本藤次郎本店 京城本町二丁目 電話二七五四番 振替京城二五六番
○御申越次第目錄進呈す○

開店御披露
今般平壤並成鏡道產撰牛を特約ヤワイ上等の精肉を御用命に可應候御注文の節は遠近に不拘自轉車にて早速御屆可仕候
尙開店御披露の爲め當分添物進呈仕候間倍舊の御引立願上候
すき燒御料理仕出し
京城本町三丁目(日丸市場角) 濱野精肉店 電話二四八四番

…日に飲食店を營業したるも常に風波絶えず仲裁する人ありてさきより庄太郎に旅費を支給して歸國せしむる…より庄太郎は大に怒り有合はせたる算盤を以てまさの右顱頂部を毆り長さ三仙深さ骨に達する創傷を負はせ

●消防手へ賞狀　本年九月六日の豪雨の際京畿道龍仁郡所在の金良川に架設しある金良橋は危險に瀕した…山入…部長より各賞狀を授與された…

●連絡船上陸客　九日午前釜山入港新羅丸二三等客　一等　森山大…二等　相澤知多利、橋本政…田愛吉、北村清太郎、中田鈴三郎、エツサー

仁川

▲署長近島巡視　松元仁川警察署長は十日午前早朝より署員を隨へ虎列剌發生の疑ある永宗島、紫月島、龍遊島等の各島を巡視したり　▲森支店長來仁　仁川十八銀行支店長にして今回釜山支店に轉任したる森常吉氏は十日午前十時來仁したり　▲燐寸會社認可申請　旣報奥田、田中、美濃谷、白神、和田の五氏を設立委員とせる仁川燐寸會社認可申請に關しては今明日中に發起人協議會を開き記名調印の上二三日中に府廳に提出す可しと　▲收容小兒數　內鮮人篤志家より成る花平里臨時孤兒收容所には目下十一名の小兒を收容しつゝ有りと

大田

▲協議會開會　大田協議會にては七日學校組合會議室に協議會を開き錦山道路に對する寄附金の件に付討議せし決果市場方面は學校組合賦課金年額の一割八分驛前一割三分の割にて千五十圓に對する市場三百圓驛前七百五十圓を醵出する事に決したり然しながら中學校に對する醵金の件あらばそれに併合して醵出する事になるべしと　▲驛發著貨　大田驛九月中發著貨は發送千百二噸到著千四百六十五噸にして其重なるものは到著米八十一噸雜穀二十八噸鹽五十九噸金巾七噸綿布九噸紡績絲二十五噸石油二十三噸木炭三十九噸石炭六十九噸木材二百二十噸等發送米百五石麥三十四噸大豆十三噸果物十六噸醬油十噸綿布八噸紡績絲十三噸石油十噸肥料五噸木材七十四噸等なるが越月せば俄に激增すべき豫想なりと　▲西本主任來田　忠南道西本學務主任は管內各學校巡視中大田尋常高等小學校十週年記念式に小原長官代理として臨席の爲七日來田九日大田普通學校を視察せり　▲牛皮生產良好　忠淸皮革會社近來の生產品は一日約二打平均に仕上げをなし居れるが九月中は上旬雨あり爲め思はしからず生產も又一打平均なりしと　▲永同綿良好　忠北永同附近は綿作地として年々好成績を擧げ地方財源として最も有望なれは道當局に於ても大正六年度は約二割を增播せしむる目的の由同地鈴木工場本年買入豫定は百二十萬斤にて價格約十八萬圓餘なるが昨年に比する時は一斤五錢二厘騰貴し一昨年に比する時は三倍額に昂り居れり

沃川

▲大豆新物　忠北沃川大豆は內地市場にも重きを爲し居れるが本年第一回新物の市場に出でしは九月二十九日にて石七圓四十錢を呼びしに本月三日相場は石七圓三四十錢に賣買せられしも一市ごとに下落すべく普通相場は六圓五六十錢代なり內地より買入商人來沃買入に著手し居れり一市二百四五十叺なるも今後は次第に多くなるべし　▲綿叺產出　忠北道廳にて綿叺製造奬勵の結果成績良好にて生產品見るべきものあり沃川附近製品の二種にて天一枚十二錢地一枚十一錢平均にて輸出しつゝあり綿叺に至つては機械製一卷卅四五錢なるも產額比較的尠なく漸く附近の需用を滿たす程なり　▲人口增加　增若鐵道工事の爲め人夫其他內地商人入込み人氣立ち居れり尙ほ年內には二千戶平均に增加見込なりと云ふ　▲貯金奬勵　增若鐵道工事の爲鮮人及び內地人人夫の多加と共に惡弊生じ易きを以て是れが防壓手段として沃川憲兵分隊長、郵便局長、其他相量り貯金奬勵を爲すべく內鮮文奬勵解說の印刷物を配布せり

大邱

▲金泉學校組合議員選擧　去八日金泉學校組合議員總選擧の結果山上三藥、正井秀之、伊藤季薰、星野光兒、谷喜三郎、森本晉次郎、井上平吉、城井惟隆の諸氏當選せり　▲大邱小學校授業　虎疫發生の爲め休校中なる大邱小學校にては近頃虎疫もやゝ下火となりしを以つて愈々十一日より授業開始すべし　▲大邱通關貿易品　九月中釜山稅關大邱出張所に於ける輸移出入合計は卅四萬九千七百五十三圓にして中輸移出額一萬三千二百四十一圓輸移入額卅三萬六千五百十二圓なり　▲判任見習試驗　十月八九の兩日間慶北道廳に於て判任文官見習試驗を執行すべく受驗者は內地人五十五名鮮人十二名也と　▲參事諮問會　慶北道にては安東外三郡に於て開催すべき府郡島重要物產品評會期中十一月五日安東十一日尙州十七日浦項卅三日淸道の日割を以て府郡島參事諮問會を開催すべしと　▲大邱驛著發貨物　九月中大邱驛貨物噸數　發送合計局線七百八十六噸同連帶六十二噸到著局線五千三百卅七噸連帶五百八十八噸にて前年九月に比する時は發送局線三百四十一噸連帶四十五噸を減じ到著局線二千九百六十六噸を增加し連帶にては十六噸を減少なれども合計に於ては發送二千五百六十四噸を增加せりと　▲果樹組合協議會　大邱市內にては虎疫發生の爲め果物の需要減退之加大邱市內にては果物販賣を禁止せられしを以て當果樹組合員は貯藏し得ざる二等品以下の處分に付十二日府廳內にて協議會を開く筈

聞慶

▲宇木獸醫部長來聞　宇木軍獸醫部長は地方巡馬狀況視察の爲め慶北尙州より來聞さる聞慶館投宿翌七日忠北水安堡に向け出發　▲鵜村尙州分隊長來聞　鵜村尙州憲兵分隊長は檢事用務を帶び六日來聞尾張屋投宿翌々八日歸隊さる　▲重石鑛發見　慶北聞慶は忠北道に隣り種々の鑛脈に富み近來處々に重石鑛の發見あり邑內伊規須彌三次氏は聞慶郡東柿面に卅七萬坪餘同郡龍額面及び忠北水山面に五十餘萬坪の重石發見認可申請中の處昨月末認可の指令に接し採掘試驗の結果七十パーセント餘の鑛量あり有望なりと　▲市場近況　目下漸く稻刈期に入り市場閑散人出少なく玄米十一圓金利內地人三步鮮人間五步高を示しつゝありと雖も重石發見の爲め一般氣配は好調を示しつゝあり

●辭令（十月六日附）
成南道勤務部勤務（新任警部）　岩見久光
京畿道勤務部勤務（同）　牧島岡五郎
平南警務部勤務（同）　佐藤英太郎

西鮮行寸信

（十月六日　平壤にて）　日新生

▲平壤は小生曾遊の地に候が三年前に比して大した發展の模樣もなく內地人の所謂新市街は依然として箇の拔けたる感あり街燈影暗くしてトロの響きも寂さみしくそゞろに秋の哀愁を覺え申候

▲町の有志の發起に係る公會堂は愈々本年より工事に著手す可く其の設計は夙に府廳の手を脫せる由承り候が目下の平壤は夫れ處でなく上下を擧げて砲兵工廠支廠の設置運動に狂奔致し居り候、府民は之を以て平壤の死活問題となし鎭南浦邊りの新聞も亦盛に之を慫慂して輿論を喚起致し居り候

▲果して支廠が此の地に設けらるゝや否やは不明に候へども淸澄なる大同江の水と朝鮮優良牛種の主產地とより推さば皮革品の製造には好適の地たるを失はざる可く候市民中には此の理由を以て大に樂觀致し居り候ものも尠からざる樣子に候へども支廳の作業が單に之れのみに止まらざるに於ては他に恰好の地なしと謂ふを得ず油斷は不覺の基と聞けば精々御要心こそ然る可く候

▲御承知の通り此處は往時色鄕と謳はれ美人の產地を以て鳴らし居り候事とて妓生などには却々の美人あり又た之れを養成する妓生學校の如きも昔しは殷賑を極めたる由に候が今日でも尙ほ四校を算し最も盛なるは金庭爍てふ爺さんの學校に候

▲今回は歸社を急ぎ候爲め妓生學校丈けは往訪の暇なかりしも三年前には此處と他に女先生の處とを訪ねて悉しく教授の狀況を視察するを得申候、其の節女の先生は病氣とあつて臥褥中と候ひしが夫れでも枕頭の生大根を噛りつゝ十數名の生徒に大鼓を敎へ居り候、其の光景今も眼前に彷彿たるものあり陰ながら同女先生の健在を祈りて午後一時三十三分平壤發列車に搭乘歸社の途に就き申候

商況

公債直取引（特電）

九日値段（前日との比較）東京

五分利公債	九八、九〇
五分特別	一〇〇、〇〇
甲號	八三、〇〇

深川在米特電

九日現在高

朝鮮米	一七、九二二
臺灣米	九三、七九二
內地米	一三五、一三一

債券現物特電（東京）

九日値段（前日との比較）　東洋拓殖　京城電氣　朝鮮銀行　朝鮮瓦斯　南滿鐵道　七六、〇〇

東京期米特電

九日前場　[illegible]

大阪期米特電

九日前場　十二月限　寄付　四一、四〇　[illegible]　後場

大阪三品特電

十日前場　當限寄付　四一、四三　中限寄付　四二、五三　先限寄付　四〇、八〇　止め

下關期米特電

十日前場　[illegible]

雜報

寄付　高値　安値　止め　[illegible]

●粗布更に高値　綿布類は昂騰に昂騰を重ね盡シ一現物は愈々六圓丁度を割らすに至れり昨今の大阪市場は在品の拂底と印度輸出の先約充實に加はへ綿糸の逆騰に株界の活況金融狀態の關係等本品に對する前途は更に數段の昂騰を爲らすべき好材料のみにて當地の金巾類も益々高模樣を呈し粗布の如き九日更に二圓に値上げを爲し三エー號は…

●細布値上　…を發表するに至れり三圓內外の下値にありしものなるが今日にては始ど…

●石油現狀維持　…

●鴨綠江方面の値上　…二十錢方の値上

●木炭は漸騰　木炭は昨冬より今夏に亙り終始低價を以つて經過せしが晩夏の頃より氣配稍や上向きとなり昨今愈々需要季節に切迫し相場は一段の高値に迎みたり眼前は小賣七十錢を唱へ安値…白炭も大發驛値七十五錢小賣八十五錢見當なるが眼先は尙ほ一段相場を引緩めん模樣なり…

●紡績糸値上げ　紡績糸は新値を報ずるの勢ひにて…七十九圓…

●鐵板更に高し　…眼先一圓高…

●生果類更に不賣　…

●大根は不作高　…

下關相場

▲朝鮮白米も變らず　其後出廻り途切れたるさ產地も安からぬに連れ行き米主の氣張り居る爲め昨今は…

仲買店

仁川引米豆取所仲買人

一六二五　電信略號…

▲大豆は依然不味　本品は引續き相當に出廻りあると屢々報ずるが如き事情の下に…

京城正米

…

南大門の廻穀

…

仁川現物市場

…

釜山市場　九日

…

三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人　海岸町三丁目　電話三三三

…

生魚市場

總出來高　二千三百九十七個……

仁川期米

▲十日前場　…

▲大阪天候曇天前寄十四圓八十錢と昨止より六錢安の入電…

二節同事移…

市場零聞

▲前場小堅し　…

▲前場の手振　…

▲外小堅き成行　買物多く存…

▲(イ)の大商内　…

▲(リ)能く賣る　…

▲(ハ)能く賣る　…

▲(ト)能く買ふ　…

▲(日)能く買ふ　…

▲(豆)の商內　…

▲續て下押す　…

▲高値より四十錢切の押目を見…

▲急遽八十七丁…反動して四十六丁切押し…

▲硬派見送る　…

▲裏面に大取組　…

▲目先小相場乎　…

仕舞賣物と同時に中限も尻り手

押目は手仕舞買物

多…

仁川米豆取引所

十日の十二月限

	寄付	高値	安値	止め	出來
前場	十一圓八十五錢	十一圓八十八錢	十一圓八十三錢	十一圓八十錢	二萬六千八百石

平均値段	
一節	十一圓八十四錢
二節	十一圓八十四錢
三節	十一圓八十五錢

賣買取組高

十月限	六千四百五十石	
十一月限	七萬千百五十石	
十二月限	三萬四千八百五十石	
九日後場		前日と比較

北濱だより

▲宇治川水電株　…

▲廣告▼

アナタの胃病はマーゲンで治る　八木田博士御處方　島田博士御鑑査

強胃消化錠　本劑の特色

大阪市東區上本町五丁目　田畑保藥房

かつけ特効新藥　陸軍一等軍醫正　ドクトル都築甚之助氏發見　日、米、獨政府專賣特許　アンチベリベリン

用法は……內服と注射　目的は……豫防と治療　常用は……萬全の上策　注射は……衝心の救急　適應は……かつけ一切

定價　…　說明書送呈郵劵二錢

發賣元　東京市麻布區笄町　南信堂藥局

代理店　京城本町二丁目　木下不老堂

花柳病專門　外科　梅毒　淋病　…　司生堂醫院　京城長谷川町南大門通

期米　曾我商店　大阪堂島米穀取引所仲買人

貯蓄預金　元金百圓ニ付日歩壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候　株式會社長崎貯蓄銀行代理店　株式會社十八銀行京城支店　同　龍山出張所

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

大日本優等淸酒　白鶴　品質純良　衞生無害　釀造元　攝津灘御影町　嘉納合名會社　發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店

營業品目　肥料部　石鹼部　京城東大門外紅葉町　朝鮮肥料製造所　京城岡崎町一四番地　朝日石鹼製造所

製造元とのやくそくで割の安い品そろいの　大おしろ店　仁川本町　河野本店

ヒゲタ醬油　銚子港　田中玄蕃釀造　代理店　京城明治町一丁目　山邑京城支店

內科　小兒科　芙蓉醫院　醫學士　森定吉

再版　朝鮮總督府裁判所書記　早川保次君編著　改訂朝鮮不動產登記　增補朝鮮商業登記　申請書式並心得　賣捌元　京城本町二丁目　京城日報社代理部

宮本武藏

第百八十三回 桃川如燕口演 浪上義三郎速記

宮本武藏は二刀流を以て細川の家中一般へ教授役をして居りました處、此の人男子無くして女子が二人ある、總領におむらと云つて今年十七歳に相成ります、此の娘に婿を娶て後を襲がせやうと思ひまして、婿養子を探して居りまする處、何にしろ宮本の養子といふのであるから家中の若侍者も彼もと申し込んで參ります、宮本は承知をして直に其中で適當の者を迎へることになりました、婚禮の式は略して申し上げますが、盃事も濟んで居室に引取りましたが、おむらは次ぎの室へ出て行つたら、それぎり歸つて參りません、乃で婿は心配をして何うしたことであらう、大分手間が取れるが何をいたして居るのであらうと、密と立つて參り襖の引合せから次ぎの室を覗いて見ると、驚いて逃げ歸り、翌朝になつて這々の態で實家へ逃げ戻り兩親へ話しをして破談といふことを申して參るから、宮本は承知したと云つて此の縁談は破談になる、是が一人では無い、來る者も〳〵婚禮の晩に何を見たか驚いて逃歸り破談を申し込む、終には是が評判となつて誰一人婿に來やうと云ふ者が無い、スルト茲に同家中にて家老末席の戸部新左衞門といふ人の次男新十郎と云つて當年二十二歳になる若者がある、或日父の新左衞門に對つて 新十『父上お願ひがございます』 父『何じや』 新『私も當年廿二歳になります』 父『それは判つて居るではないか』 新『當家は兄上が家督をいたされるので私は何れ他家へ養子に參る者、最早二十二歳ともなりますればお遣はし下さい』 父『それは其方が云ふまでもない、何うか宜い處を探して居るが、俗に申す帶に短し襷に長しとやら、良縁が無いので困つて居る、何處ぞへ參りたいと申す處でもあるか』 新『左樣でございます、指南役宮本の方で養子を探して居るとのこと故宮本方へお遣はし下さい』 父『何を云ひなさる、其方も聞いて知つて居るであらう、彼の宮本方へは何人養子が參るか知れぬ、然るに誰一人として納つた者が無い、皆婚禮の晩に實家へ逃げ戻る、何か是には仔細があらう、今では一人として參る者が無い、左樣な處へ好んで參るにも及ぶまい』 新『處が私は是非參りたいので』 父『其方も餘程變り者じやな、然し參りたいと申すならば話しをして遣はさう』と早速橋渡しを以て宮本方へ此の縁談を申し込むと、宮本方では家老の伜とあれば何より幸ひ、殊に彼の新十郎は弱年ながら文武二道に渉つて居る者故宮本は喜んで承諾いたし、申し受けたいと返事をした、茲に話しが纏つて吉日を選び新十郎は宮本方へ婿入をいたしました例の通り盃を濟せおむらの居室へ引取り打臥せらうと云ふ時におむらはスーと次ぎの室へ立つて參りました、待てども〳〵何をして居るか出て參りませんから 新『ハテナ、厠へ參つたか、それにしては大分手間がとれる次ぎの室にてゴト〳〵音がいたすが誰か居るのかしら、一つ見てやらう』と新十郎密と立て來て襖を少し排け隙間より覗いて見ると、座敷の中央に坐つて居た故むら、何か然へひとをして居る樣子であるから愈不思議に思つて見て居ると、四邊をキヨロ〳〵陶して中央の疊を一疊引揚げ、根太板を剝し始めましたから 新『オヤ〳〵椽の下を掃除でもいたすのであるか』大掃除ではあるまいし、おむらは椽の下へ入つて間もなく其處へ持出したのを見ると一ツの瓶、新『ヤーあんな瓶を持出したと』見て居ると其の瓶の蓋を拂ひ、中へ手を差入れて引出したのを見ると嬰兒の腕、血はボタ〳〵滴れて見るも恐しい、其の腕を取つて一口喰て後方を顧眄つた有樣は、髮を亂し口の周圍は眞赤になつてニヤリと笑つた物凄さ、又手を差入れて嬰兒の頭を引出して、血の滴るまゝペロリ〳〵と嘗め、眼を光らせてウンと睨んだ其の態は何とも云へぬ怖しさ、身の毛も彌立ばかりなり

石鹸化粧品 婦人小間物 卸商 月本政次郎商店 京城明治町二丁目 電話二二二八番

京城本町三丁目(壽座南隣) 伊藤耳鼻咽喉科醫院 醫學士 伊藤隆 電話二二七七番

曆

十月十二日九星 舊九月十六日壬午 木命六白乾戌赤口

▲六白 二枚舌の嫌ある日謹で新事見合 南方け吉 ▲七赤 幸福の日 轉居 行商 入門 名弘 金貸 求職 出漁 新築 建築 移轉 婚禮 皆吉 ▲八白 治りよき日 轉居 旅行 出漁 名弘求 職 築造 婚禮 合資等萬吉 ▲九紫 甦しき事ある日 新事手控 移轉け吉 小兒衛生 諸惡注意 ▲一白 上運の日 轉居 旅行 入門 名弘求 職 金談 嫁婚 取釀 造の原資を求るに萬吉 ▲二黑 貸收よき日 轉居 旅行 求職 金談 探礦 婚禮 農産 織物 染物等萬吉 ▲三碧 胸におちぬ事有る日 新事手控 舊事は吉 萬事喧嘩にせらるべし ▲四緑 平運の日 物の下相談を爲すは吉 新事手控 舊事 農小は妨なし ▲五黄 百事利達の日 萬事進で利あり 女子の獨立自營を圖るに妙徧入來る

〈演藝案内〉

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 十月十日より秋季特別大興行 ○滑稽 きばり ○喜劇 隣り同志 △米國アメリカンフヰルム會社傑作 ○活劇 第二彈 全二千呎 △日活會社秘藏の大名優尾上松之助延一郎一派出演 ○實錄 忠臣藏 全十二卷

御成座 御成町 電話二九一 △朝鮮新派劇元祖 革新團 林聖九 一行 毎日開演

壽座 京城壽町 電話五七八番 十日目替り 前 鈴木主水 白糸ばなし 中 増補忠臣藏 本造下屋敷 切 妹脊山 竹に雀の段

黃金館 電話 一八五二(階上) 二六三七(階下) 大正活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 九月二十七日より特別大興行 ○偵探大活劇 マルソウ城 全三卷

有樂館 日本活動寫眞株式會社特約 本町一丁目 電話二六六 十月七日より特別大興行 ▲『ジエンショーア』全五卷 英國史劇

大正館 大寫眞と浪花節 日活會社が多年の星霜數萬の巨費を投じ改訂に増補を重ね茲に初めて完成を告げたる天下一品の大寫眞 實錄 忠臣藏 全通し 勿驚二萬呎十二卷續き ●大好評 餘興 少女浪花節 日吉川うの子嬢 本夜の讀物 赤垣源藏 德利別れ 先客五百名樣に記念品贈呈 大勉强 料金普通 大正館

僅か五厘で女の最良藥

見本一日分と『婦人の寶』を無代進呈!無代進呈!!

女と生れて知らぬは一生の損 男も女も見逃しならぬ一大事

女の方に、婦人病と云ふ血の道や子宮の病氣があるくらゐ、不幸なものはなく、悲しいものはございません。所が世間には此病氣の爲め ●いつも月經が早くなつたり後れたり ●月經時に下腹痛み ●平素ねばりあることしけが多く下り ●下腹筋張り胸つかゑ ●足腰引つれ又冷ね ●頭痛はする眩暈はする ●手足先冷ね顔ほてり ●腹に毬の樣な塊が出來 ●少し根つめた仕事でもすれば脊肩凝り ●少しの事が氣になり腹が立つたり泣きたくなつたりする……と云ふ樣な色々な容態に苦しめられ、つらい思ひに泣いて居らるゝ方が尠くないと存じます。中には多少月經の早い遲いは當然、多少こしけのあるも當然の事と思ひ、少しの頭痛や少しのめまひのすることあるも、左程大した苦痛なき所より其儘に打捨て置かるゝ方もある樣ですが、然うして無頓着で居る内に病氣は漸々少しづゝ重なりて遂に慢性の子宮病となるものですから、決して油斷はなりません。ですから女の方は此の病氣ある人は勿論、たとひ病氣と云ふ程では無くも、身體を大切に思ふ方は先づ以て私方の女の最良藥と『婦人の寶』を申込みて女の最大幸福を得られませ、多くの御婦人方の中には、モー散々此の皆の爲めに惱み、モー散々あれよこれよと買藥しても、一向に其の効なくて悲しみ給ふ方もあらうと存じますが、然うした方は尚ほ更早く御申込下さいませ。私方のビホーと申す女の最良藥は其の効めの著しい事は他に類が無い誠によい女の良藥だと、試めされた内は疑つて居た方は尚更驚いて居ると云ふ程、評判の好い確實な藥であります又『婦人の寶』と云ふ美本は女の心得て置かねばならぬ大切な事であります、然も斯樣な最良藥を這回見本として一日分と『婦人の寶』をドナタにでも無代で進呈する事に致したのでありますから何は兎もあれ一刻も早く御申込なさいませ。申込は只一枚のハガキで宜しいのです又此の新聞を帶封して僅か五厘の切手を貼つて御送り下すつても私方では之れを申込と見做して最良藥と『婦人の寶』を無代で進呈致します、善は急げ、僅か五厘でも申込める、一日も早く女の幸福を得られよ。

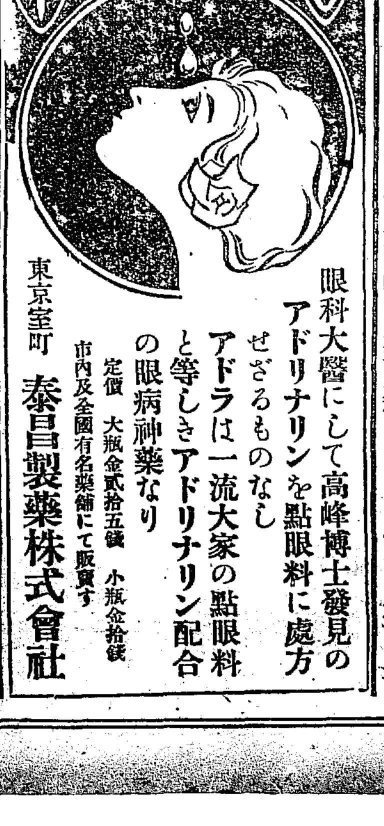
東京九段下九十三 電車停留所前(電話番町二八八二) 橋本健藏

勸業貯蓄債券

種別	い・ろ	は・ぬ	に	ほ・へ	ち・と	り	を・る	廿三	卅四、卅五、卅九
賣値	五三五	五三〇	五〇九	五二〇	五四〇	五六〇	五四〇	九二〇	九六〇
買値	五〇五	五一五	四八〇	四九〇	五三〇	五四〇	四八〇	八九〇	九三〇

種別	卅六、卅七	卅八、卅一	卅九、卅二	四十七、四十四	四十八、五十四	四十九	五十、五十六	五十二	六十三	六十四
賣値	一〇〇五	一〇六〇	一〇四〇	一〇五〇	一〇九〇	一〇〇	一〇三〇	一〇八〇	一〇三〇	一〇五〇
買値	九七五	一〇三五	一〇二〇	一〇四〇	一〇六〇	一〇〇〇	一〇九〇	一〇一〇	一〇一〇	一〇二〇

◎拾壹月抽籤 壹等武千圓 五十八回月賦販賣 第一回拂込金及申込料共 一圓五十錢 御拂込次第債券番號通知す其時より當所で二回目より九回迄は毎月一圓宛拂込み得した割増金及利札は全部申込者の所得です御送附▲毎月抽籤の樂みある當店獨特の二圓廿錢 御拂込次第債券御望の債券月賦又は隨時新販賣取扱▲債券送料十錢 販賣法有▲御望の債券 大阪南區長堀橋筋一丁目清水町停留所北入 電話南五六六・六一 振替大阪四二二一五番 森田債券部



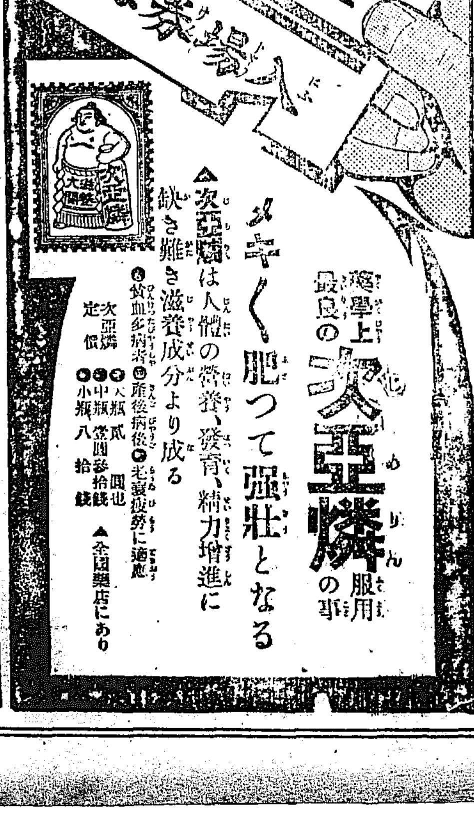
淋病新藥 ツヨール

下山藥學博士、慶松藥學博士、加藤獨國醫學士、笹川醫學士證明、田中醫學博士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士檢定、山田獨國醫學士實驗の結果理想的治淋劑と確定せる

▲本品は殺菌力强大にして絶對に胃腸を害せず膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、腎臟炎、淋毒等其他一般急性慢性淋病に偉効を奏す

發賣元 東京日本橋 ツヨール商會 關西代理店 大阪 田邊五兵衞

○到處藥舖に販賣 說明書無料贈呈す

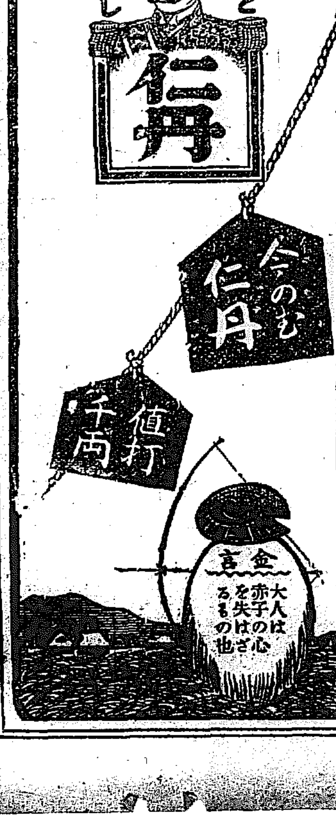


金銀名譽賞牌 高級式 日本乾電池

東京品川 日本乾電池製造株式會社 電話芝八三七番 振替口座東京一六二九一番

カーボンブラシユ 電燈電話用諸機械 金屬電解板 電線電球テープ類 製造販賣

御一報次第營業案内書送呈す 地方一手特約店の申込に應ず



大正五年十月十一日 (水曜日) THE KEIJO NIPPO (一)

(第三種郵便物認可)

(中)無休刊

京城日報

第三版

十一日朝刊 夕刊と合せて十二頁

定價 本紙一部金三錢五厘 一ヶ月金七十錢

發行所 京城太平通一丁目 合名會社 京城日報社

發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

仁川米豆取引所 ▲十日後場 [illegible]

▲後場の手振 [illegible]

京城日報
米國の領土經營

北米合衆國の現在の爲政者は、民主黨にして、其主義は平和無事を旨とし、最も進略政策を排すと稱するも、時勢の爲めに餘儀なくせられて其主義政策に幾多の變更を見ることなき能はず。民主黨政府の下に、軍備大擴張經畫を見るがごときは其一例なり。此度亦カリビアン海上丁抹領諸島購買入を企てたるがごとき其事未だ纏らずと雖も、亦以て其意機の存する所を知るを得べし。

南米中米諸地及び玖瑪島の中間にカリビアン海あり、西印度諸島此水面に點綴す。此海面に對して最も強大なる根據を有するものを英吉利と爲す。英領ホンヂユラ、ジヤメリカ其他英領西印度諸島あり。佛蘭西亦グアデロープ、マルチニーク諸島を領有せるあり。此間北米合衆國は更にポルトリコを有するに過ぎず。此度丁抹と交渉したるは、則ち其西印度領土たるセント、クロアクス。セント、トーマス。及びセント、ジヨンの三島其面積百三十八哩を五千萬圓にて買入れむとするものにして、此交渉略ぼ成りたる後丁抹の上院にて之を否決したる爲に、一旦頓挫したるもの丶如くなれども、米國人は則ち談判を再開するの望みありと稱す。

米國人常に此半球には歐羅巴の勢力を容るべからずと唱ふるも、南北米の中間に中りて斯く歐羅巴諸國の根據地を存することは、其の心を安せざる所たるや論なく、若し戰略上より之を云はゞカリビアン海に外國の根據地を存することと、巴奈馬運河の安全とは兩立すべからず。是れ米國人の常に西印度諸島に懸念して、苟も機會ある毎に必ず此に手を著くる所以にして、嘗て英領西印度と比律賓群島とを交換すべしと主張するものありしも、未だ事實問題となるに及ばず。又丁抹は千八百六十七年、米國政府に向て、其西印度諸島を七百五十萬弗にて賣却すべきことを申込みたるに當時の米國政府は、領土擴張を喜ばざる爲めに相談纏らず、其後千九百一年又復丁抹政府より僅かに五百萬弗にて賣却したき旨を申込み、其際は條約調印の運びたるに拘はらず、丁抹の上院之に反對したる爲に、不[illegible]當時上院議員中の[illegible]追に餘儀なくせら[illegible]賣却を拒みたりと[illegible]上院の拒否も亦[illegible]するやも知るべからず。

近頃世上北米合衆國は、歐洲戰役の間に乘じて、亞細亞經營に其の心力を集中すべしと爲し、昨今米國新聞紙上に喧しき日米關係に就て神經甚だ過敏なるものなきにあらずと雖も、米國人の最も重ずるところは其全米經濟にあり。全米經濟とは北米合衆國自ら首腦となりて、墨西哥南米諸國民を一統し、政治上經濟上の完全なる一世界を形成せむとするにあり。昨年五月全米會議を開きて、其經濟上の要件を協議してより以來其經營甚だ見るべきものあり。米國民の作爲するところ、自ら本末輕重の辨すべきものあるや知るべき也。

朝鮮の古城郭(十一)
八木奘三郎

(四)歴代城郭の變遷

朝鮮半島の地は、其廣袤甚だ狹隘なり、然れども古來諸民族の流入せしもの少なからず、隨て其民族の築造せし城郭は各地に存在せり、例せば西鮮地方には支那式城郭有り、又東北方には沃沮風の城郭を認め、又東南方面には純日本式城郭、扶餘城郭の類有り、是等の古城郭を種族的に分類叙說するは頗る興味あれども、學問の研究は常に本末系統を重んじ新古別の法を執ること普通なれば、先づ右の趣旨に基づきて最古の分より記述す可し。

(甲)樂浪帶方時代の古城郭

朝鮮の歴史は箕子に昉る、此事甚だ疑ふ可しと雖も、漢韓の史家競ふて之を誇大に說くこと怪む可し、蓋し箕子の東遷は假令事實なりとするも是は一種の征服に相違なく、之を被治者の側より考ふれば一大恥辱と謂ふ可しされば韓國の學者は先づ右を否定するが當然なり、然るに却て之を尊重するは、一に聖人の子孫たり、禮樂の國たり、君子の遺風存せりなぞ云ふ點を誇らんとするが爲めなる可し、今史に據て考ふるに箕子の東遷後一の古傳なるも其位置は半島以外と覺しく、殊に文化の流傳には影響なし、されば戰國の末に朝鮮侯あり、燕と接壤して隣國を討んとすと云ひ、又箕準平壤に居り、衞滿に追はれて馬韓に入ると稱するも、古傳以外には實證なく、況して確然たる事實上より立論する考古學の資料としては頗る縹緲遠し、故に是等の時代に屬する分は凡て省略し、先づ樂浪帶方以來の城郭類より記述す可し。

漢の武帝、元封三年、朝鮮を伐て之を降すこと史記に見ゆたり、而して此地に樂浪、臨屯、玄菟、眞番の四郡を置くことは前漢書の武帝本紀に初て之を載す、尋で二十六年の後即ち昭帝の始元五年に至つて臨屯、眞番を罷めて、之を二郡とせしことは後漢書東夷傳中、濊の條に記せり、又樂浪の一縣たりし帶方を郡に改めしことは諸書に見ゆたれども、先づ文獻備考の記事を左に擧ぐ可し。

帶方縣、後漢書、靈帝末、韓濊並盛、郡縣不能制、百姓苦亂、多流亡入韓者、獻帝建安中、公孫康分屯有、有鹽縣以南荒地、爲帶方郡、收集遺民。

又四郡志、帶方郡の註には『接ずるに屯有縣南の荒地は樂浪、韓と相接するの地』と云ひて其地點を明にし次に本文を擧げて曰く。

遣公孫模、張敞等、收集遺民、興兵伐韓、濊舊民稍出、是後、倭韓遂屬帶方。

漢の四郡が二郡となり、又三郡に變じ、而して後の一郡は從來の縣名を取りしことは右の文にて明かなる可し、又帶方は、帶方、列口、南新、長岑、提奚、含資、海冥の七縣を管轄せしこと備考に見ゆたり、又樂浪は漢書の地理書に二十五縣とあれども、其中七縣は帶方に移りしを以て殘る所は十八縣なるが、合計二十五縣の數は漢代に於て動かざりしとを知るに足れり(未完)

黄海道を縫ふて(二)
豺の子生

□自動車屋に感謝

此の自動車は沙里院海州間を往復する自動車だが、二臺とも隨分古ぼけてゐる處を見ると之れまでとも却々忠實に働いたものと思はれる。一體朝鮮の交通機關といへば鐵道に次ぐものは自動車で、今日では鐵道沿線の主要驛から著名な都邑には大抵是が普及してゐる樣であるが其の經營は殆んど織居一手でやつてゐる、何しろ鐵道以外の旅客は人車を藉るか馬に頼るか左も無ければ膝栗毛に鞭つより仕方のなかつたものが今では之れに依つて縱横に旅行。と迄には行かなくとも兎に角或る點迄は風を切つて驅驅する事が出來る樣になつたのは誠に有り難い仕合せで、時間の省略は勿論、吾々如き貧乏人に取つては之れに伴ふ旅費の節約上から云つても其の經營者たる織居に對して一言感謝の辭を致さなくてはならぬ譯である。

□往時の漢湖農銀

處で更に一歩を進めて考へると織居をして衰へたりと雖も尚ほ自動車王として今日あらしめてゐるものは例の漢湖農業銀行である。土岐支配人時代の漢銀は隨分亂暴な行爲を敢てして遂に破綻百出、監督官は臘を剝がれ支配人は繫獄の身となつた。銀行業者としては不都合千萬な所業で當時彼等が漫罵嘲笑の焦點となつたのは無理からぬ次第であるが、然し彼等が其の當時に振り撒いた金の中には何人かの手に依つて有效に活用せられ今や社會國家に貢獻する處鮮少ならぬ事業がある。織居の自動車なども其の些細な例であるが其の他矢鱈に手を出した各地の鑛山中にも三文にもならなかつたものが多かつたけれども又今日では既に成功の域に向ひ、若くは將來非常に有望なことが確められたものも鮮くない。近い話しが本道内瓮州鑛山の如きは鑛業者間の垂涎措かぬ金山であるが之れは漢銀がドン〳〵資本を注ぎ込んだ結果漸く今日在るを得た次第であつて普通の銀行や資本家では到底ものにする事は出來なかつた山である。

□失敗の裡の成功

前支配人時代の漢銀は銀行としては徹頭徹尾失敗に了つたことは論ずる迄もないが、其の廣漠たる失敗の畑中には時に產業の開發や交通機關整備の種子を播いて陰ながら地方の進展を助長した質の色づいてゐる事を忘れてはならぬ。之れが葬られた彼等に對する同情と當時の漢銀に對するせめてもの慰藉である。自動車は凹凸道を飛むで十時十分載寧を去る里餘の手前、自分と夫れから載寧鐵山主任の白田氏とを下し再び載寧に向つて疾驅し去つた。自分は此處で白田氏に伴はれ山から迎へに來た招待用のトロに乘つて載寧鐵山に押されて行つた。

六段 雁金準一 基伯署 世の新著
布石攻合 置碁必勝法
著者最近實戰陣立の方法。攻防の手段及其變化より黑白の大勢に三百圖に解剖し精密に詳解せる手順を明示したる活定石也
再版 中川方社長 和装美本 價一圓廿錢 送料八錢
京城 大阪屋號

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
電話 振替貯金口座 京城三三二番
支店 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾濱、營口
出張所
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

新公論 十月號 新著内容外觀面目一新 三百四十頁に改版
寺伯環侯交渉秘錄 某貴族院議員
輿論相場師尾崎行雄 鐵拳
戰局外道觀 ◎三派合同觀
出版界の二大王
海外の政治家
大隈の引退の是非
叙納政治の望む
人格本位の教育
合同の表裏……城西逸民
何もない……白田男
看板を小さく……岡崎邦輔
逆に政肉合同か……長島隆二
總決算期に立てる大隈侯 岡崎邦輔
日本赤十字社を如何にすべき
永劫の伏魔殿巴爾幹 長瀬鳳輔
放言錄 黒頭巾 ◎院展下馬評
タゴールは來た去つた 田中王堂
幽靈ローマンス……吉野臥城
遊蕩文學論者を嗤ふ……徳田秋江
雜誌發送史の初一頁の新聞記者修行……
三都女流書家物語……たかを
小說 初雪 秀雄 首を斬る瞬間 雨雀
東京京橋區加賀町 新公論社

再版賣切れ三版大增補發賣
朝鮮總督府 普通學校 法律商業學校 講師 西村眞太郎著
朝鮮語會話
受驗者必携の資料 ◎袖珍總クロース四百頁 美本
江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や再版壹萬部を賣盡し尚要求盛なるに付改訂大增補を行ひ三版發賣するに至れり朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に採りては最親切なる解說者だり是非一本を供へられよ
定價金八拾錢 郵税六錢
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
大取次 大阪屋號 日韓書房 嚴松堂 各地支局書肆

海員募集
最新の航海に關する學術を講義し教授し海員養成に卒業者は各會社汽船へ直に乘船せしむ 東京芝愛宕町 帝國通信航海學校

會員募集
學事顧問
森外一博士 芳賀矢一博士 幸田露伴博士 佐々醒雪博士 大町桂月先生 島村抱月先生 五十嵐力先生 巖谷小波先生 徳田秋聲先生
趣意 講師 講義 添削 會費
文章一般及び文學の作法理論を教授して文明的國民修養の根柢を作るにあり 帝國大學教授外三十餘名皆現文壇に活躍しつゝある第一流の專門大家のみ 各講師が多年研究の蘊蓄を傾注され作法及理論の兩方面より平易明快を極む 會員に限り文章長詩和歌俳句を親切丁寧に無料添削して研究と練習とに努む 會員の負擔を輕減し會費は極度に低廉非營利的本會の趣意にて他に其比無し
新學期開講記念 世界大文豪傑作進呈 其他 大特典
新式文章講義錄
大特典提供
入會金全免 文豪傑作贈呈 文藝評論贈呈 賞制度制定 文藝雜誌贈 獎學資金
見本會則進呈
東京市小石川區 大日本文章學會

ラーヂ萬年筆之光榮
閑院宮殿下 恭御買上
露都御訪問に付御料として九月六日豪御買上
李王世子殿下 賜御嘉納
金武官長を經て九月二日奉獻
日々御愛用を賜はる
銀牌受領
正十四金ペン 附責任保證
文房具問屋 學習院御用 酒井商店
東京市日本橋區米澤町一丁目
目錄送呈
電話浪花五七一番 振替口座東京四九五三番

特價	
1號	1,200
2號	1,700
3號	2,300
4號	2,600
5號	4,000
6號	3,300
7號	7,000
8號	3,800
9號	3,400

送料十二錢 代金引換十七錢 滴附器 三十錢

第拾三期開講 速成一ヶ年卒業
各文官受驗 普通學科 通信講義
▲學力は小學卒業程度で充分 ▲教授法は試驗が唯一の眼目 ▲職業の餘暇に勉強が出來る ▲文字には全部振かなを付する ▲講義は平易で解し易すし ▲講師は皆當代著名の大家 ▲卒業生は直ぐ就職が出來る ▲立身を望む青年は速に入會あれ
各官廳に於ける本會の信用
見本附會則無代進呈▼東京市麹町區永田町 普通文官養成學會

(カタログ進呈)

船用石油發動機
品質本位
船舶用 陸用 石油發動機
株式會社 新潟鐵工所東京出張所
東京市麹町區有樂町三丁目五番地
電話新橋(長)九九六・九九七 電略(ニト)

◎隈侯は元老待遇

九日大隈首相に對し優詔を賜はりたるは既報の如くなるが右に關し波多野宮相は語りて曰く「大隈侯に賜はりたる御沙汰書を拜讀するに侯は老軀羸弱の故を以て骸骨を乞ひ奉りたり侯乞骸に際し畏くも聖上には充分加餐自愛して今後猶一層國務に贊助協補せよとの御意と拜察す故に侯は明に元老の殊遇を賜はりたるものと解釋すべきなり」云々(東京特電)

◎新黨結黨式

同志會、公友倶樂部中正會の三派合同より成る新政黨結黨式は十日午後一時築地精養軒に於て擧行さる加藤子、尾崎、高田、武富、河野、箕浦、若槻、安達、片岡、島田等の幹部諸氏及び代議士黨員百五十餘名出席、奏樂餘興等ありて二時開會、尾崎行雄氏會長席に著き次で大竹貫一氏開會の辭を述べ終つて濱口雄幸氏は新黨組織に至れる經過を報告したる後議事に入り小山松壽氏宣言、綱領、黨則の草案を朗讀し滿場に諮りたるに異議なく決定終つて總裁の選擧に移るや高田早苗氏は一切の手續を略して加藤高明子を推薦したしとの動議を提出したるに之れ又異議なく決定依て加藤子登壇如左挨拶を述べ新黨を憲政會と命名する旨を報告し續いて總務一名幹事長一名常務幹事十五名評議員六十名の選擧に移りたるに藤澤幾之輔氏より總裁指名の動議出で直に之れに決し次で祝詞祝電の朗讀あり尾崎會長の發聲にて兩陛下の萬歲を三唱し終つて宴會に移り五時散會せり(東京特電)

不肖、諸君の推薦に依りて新黨の總裁に就任するに至りしは無上の光榮なり最初大隈侯を推擧する筈にて種々交渉を試みたるも終に承諾を得ざりしは遺憾に堪へず而かも黨首は一日も缺く可からざるを以て不敏をも顧みず此の大任を引き受くる事とせり爾今諸君と共に憲政の發展を企圖するに努力すべし云々

◎御禮言上 大隈侯の參內

大隈侯は十日午前十時參內 聖上陛下に拜謁仰せ付けられ親しく天機を奉伺し次で辭表聽許に際し前官の禮遇を賜ひ殊に優渥なる御沙汰を拜せる御禮を言上し更に皇后陛下に拜謁在任中の御禮を言上し御前を退下し高輪東宮御所を始め奉り各宮邸に參上同樣の御禮を述べたり(東京特電)

◎文部次官 福原氏辭表提出

福原文部次官は辭表提出したるを以て岡田新文相は九日夜福原次官を自邸に招き留任を勸說したるが結局辭職する事となりたるを以て其後任は田所普通學務局長昇進する事となる可し(東京特電)

◎辭令

十日左の如く任免發表ありたり(東京特電)

正四位勳二等 勝田主計
被免株式會社朝鮮銀行總裁
大藏次官 菅原通敬
依願免本官

◎日滿連絡輸送

七月中に於ける滿洲發著貨物の輸送數量は三萬六千四百十噸(南滿線發鐵道用石炭一萬七百廿五噸を除く)にして之を南北行に分ち前年同月に比較するときは院局線發數量八千百四十四噸は五千八百五十九噸南滿東淸線發一萬八千二百六十六噸は五千百九十七噸の增加を示せり今發著線別の輸送數量を示せば

線名	數量(噸)	前年同月に比し增減(噸)
院線發南滿線著	一、九一三	一、三九五增
院線發東淸線著	九四二	八四〇同
計	二、八五五	二、二三五同
局線發南滿線著	五、〇三三	三、四二二同
局線發東淸線著	二五六	二〇二同
計	五、二八九	三、六二四同
北行計	八、一四四	五、八五九同

	線名	數量	前年同月に比し增減
南	南滿線發院線著	三、九七三	三、八六一同
	東淸線發院線著	―	―
	計	三、九七三	三、八六一同
北	南滿線發局線著	一四、二九三	一、三三六同
	東淸線發局線著	―	―
	計	一四、二九三	一、三三六同
	南行計	一八、二六六	五、一九七同
	總計	二六、四一〇	一一、〇五六同

右貨物の輸送狀況を仔細に觀察するに

▲院線發南滿東淸線著貨物

南滿線著數量一千九百十三噸東淸線著數量九百四十二噸計二千八百五十五噸にして前年同月に比較するときは南滿線著數量一千三百九十五噸東淸線著數量八百四十噸を激增せり前年同月は支那に於ける排貨熱の餘波未だ冷めやらず對滿貿易一般に波瀾に陥りたる時なれば之に比較して[illegible]當然なる[illegible]線著物に在りては[illegible]比較的佳良なる成績を擧げたる[illegible]に七百噸の增加を示せり院線發貨物[illegible]のは白米五十四噸[illegible]依然綿布にして南滿線著數量四百六噸計一千四百[illegible]來之に亞ぎ綿絲布製品は大[illegible]況を呈し莫大小、襯衣、靴下、手巾[illegible]最も多く右の外本年三月以來[illegible]荷なかりし東淸線著白米は前月來の荷動[illegible]きも五十四噸の輸送を爲せり

▲局線發南滿東淸著貨物

局線發南滿線著五千三十三噸東淸線著二百五十六噸計五千二百八十九噸にして前年同月に比較するときは南滿線著數量三千四百二十二噸東淸線著數量二百二噸の增加を示せり其主なる數は白米八百三十八噸鮮干魚三六噸金屬材料九

十九噸金屬器類四噸機械品類材三十六噸木材七百三十三噸鐵石三千二百三十三噸等なりとす

▲南滿東淸線發院線著

南滿線發貨物は前月の如き活況なかりしも尚ほ豆粕の出荷旺盛なりし爲一般貨物の輸送數量三千九百七十三噸に達し前年同月に比し三千八百六十一噸の大激增を示せり其主なる品種を擧ぐれば大豆三百八十四噸小豆十一噸豆粕三千三百六十一噸羊毛百五噸等なり

▲南滿東淸線發局線著

東淸線發貨物は昨今兩年共皆無にして南滿線發數量一萬四千二百九十三噸は前年同月に比較し一千三百三十六噸の增加を示せり前年鮮米代用品として二千六百七十六噸の輸入ありし滿洲粟は本年全く輸入なかりき輸送品種の主なるものを擧ぐれば大豆四百一噸小豆六百三十七噸雜穀十一噸穀粉二百十五噸金屬材料百八十四噸木材一千五百三十四噸石炭一萬七百五十七噸鑛石六十九噸鐵石五十二噸麥七十一噸等なりとす如上の輸送狀況を通觀するに何れも前年同月に對比し良好にして就中局線發南滿線著貨物は鐵石の輸送により非常なる殷賑を呈せり又院線發南滿線著貨物の增加は前段述べたる事情に依るものにして畢竟其數量より見るときは例年の輸送成績に徵し出荷稍早目となりたる傾向あり

◎實科教育機關

京城に於ける中等教育機關に缺陷あることは既報の如くなるが更に女子の實科教育に就ても不備の點尠からず毎年京城內の七小學校より卒業する女子が京城高等女學校に入學するものは極めて少數にして從來は百二三十名の募集定員に辛うじて達し得たる程の狀態なり是れ一には授業料の不廉なるにも因るべけれど他面には市內の技藝學校又は之に類する個人の裁縫教授所等に入り實地的の修業を爲すもの比較的に多數なるためなり京城府にても夙に此點に留意し曩に鍾路小學校に女學卒業生のために裁縫科を特設し又は私立京城女子技藝學校に年額千二百圓の補助金を交附する等

▲應急の策を講じて今日に至れるものなるが何れも定員以上の收容を爲すの盛況なり就中京城高等女學校は毎年又は隔年毎に殆んど百人宛の定員を增加し來りたれども現在の七百人を限度として來學年よりは定員を增加せざることゝなりたる由なれば從來に比し女學校入學希望者數の幾部分は定員超過のため不合格となり自然他の方面に轉ずることゝなるに至るべし然るに前記の如く女子の實科教育を施す可き機關が區々にして其組織と內容に優劣あるは勿論甚しきは如何はしき裁縫教授所の數も亦尠からざる有樣なれば京城府も又一般父兄も實科高等女學校的の組織ある學校の出現を期待するもの多きを加ふるに至りたり幸ひ私立京城女子技藝學校が經營者の更迭により

▲舊來の校風を革新し今日にては二百名近くの生徒を收容するに至り公立京城高等女學校を除きては全鮮第一の女生徒數を收容し居れるの狀況なれば少くも之に三百名位の生徒を收容し得可き設備を加へ次年度に於て補助金を增加せば有力なる實科教育の機關となる次第なればとて同校の校舍の移轉につき二三豫定地の物色中なり然れども何分資金問題の之に伴ふことゝて容易に決せざるものあれども京城府及び父兄側にても多大の同情を以て力中なれば早晩完全なる女子の實科教育機關の設置を見るに至るべし

◎露國に於ける白米の需要
前途決して樂觀す可からず―米の加工品輸出を企てよ

浦鹽松田銀行部支配人 中村光吉氏談

今春來內地及び朝鮮から纏まつた白米が浦鹽に輸出される、それで一般には露人がスープの實以外急に米食を初め出したやうに思ひ今後益々米の需要が殖ゐるだらうと稱してゐる、然しそれは誤解で事實は露人の米食が進んだ譯ではない、內鮮の米商人がさうした誤解を强くし

▲諸種の商計畫を立てると必らず噬臍の悔を遺すに相違ない、然らば何故露國に今春來白米がドシドシ行くかと云へば(一)露國政府で軍人に對し一週間に一回位宛米を牛乳のやうドロドロに炊き潰して食はする、これは日本兵が米を食ふから强い夫れにあやかり度いと云ふ意味(二)從來露國の沿黑龍江省總督は勞働者の使用に排鮮人の主義を持して居たが新任のゴンダッチ總督は勞働者不足並に日露の親善を圖る一助として其の他の關係から假へば露國の一の鑛山坑夫の三分の一迄は朝鮮人を使用して宜しいと云ふ事にした、乃で朝鮮人は最近夥しく入露してゐる之等の米食の增加(三)山東苦力の入露も非常に多い、本年は平年の二倍或は三倍と云ふ多數である從つて夫等に消費さるゝ

▲米の增加は少なくない、ザツト此の三つである、乍併此の增加せる白米供給が在浦鹽精米業者の精米力で不足するかと云へば必らずしもさうでない、又粳は例年の如く入津し在浦內地人精米業者は切りに忙しく精米をやりつゝある唯一の白米を內地及び朝鮮に仰がねばならぬ原因は在浦鹽支那人精米業者成泰義が整理の爲め休業してゐる、成は大規模の精米所を經營し殆んど內地人三精米業者に匹敵する程の精米力を有してゐた、で其の休業の結果が內地及び朝鮮に露國より白米を需めしむるに至つたのである、成の復活に就ては種々な說を聞く、或は近く精米を開始するだらうと云ふ人もある、若しさうなれば內鮮よりの精米

▲供給は激減するものと覺悟せねばならぬ、問題は成の再起の時期如何で內鮮の米商人は永久に現在の如くなるべしと觀るのは危險であるそれから今後露人に米食を普及すると云ふ事は仲々難事であらうが米其の儘を出さず米を麵にするとか若くは製菓原料にして出すとか乃ち大小の加工して露國向き輸出品を製造するのは今日の急務ではなからう乎其れには內鮮を問はず露國內の視察研究を怠らず彼れの嗜好に適するやうにせねばならぬ原料其の儘の白米を輸出する事で能事終れりとなすやうでは吾が對外貿易の發展を圖る上に於て遺憾に堪へぬ次第ではないか

▲朝鮮生果と露國

鮮露貿易は米及び粳を除くと目下の所殆んど云ふに足るものがない、稍將來のある物を求めたら果實であらう、朝鮮產の果實―殊に林檎は色澤原味共に露人の稱讚を博するに十分だが其の缺點を露人に聞くと、怎うも朝鮮の果物は全體の生產額が少なくて賴りにならぬと云ふ、產額の少い時には其の需要も多いから、不作となると實に氣の毒な程品が來ぬ、だから毎年一定の數量を買ひ込むに適當でないと云ふ、其上に行くと內地や米國は生產區域が廣くて甲地方が不作でも乙地方に豐產を見年々

▲一定の分量を左右の顧慮なく引きさる事が出來る、加ふるに朝鮮產の果實は包裝が不完全だ、一體果實はパラピン紙にでも一つ〳〵包まねば朝鮮の包裝の如く粳殼詰では生果の面が損じ易く腐みを生ずるのである、予は朝鮮產物の露國仕向で有望なのは果實だらうと信ずるがそれには上述の注意を必要とする、產額の增加を企圖する如きは無論當局の努力奬勵に待つべき事多々あるが朝鮮の果樹經營者が露領及び滿洲方面への仕向を念とする以上彼等の要求に副ひ希望に應ずる位の生產高を見るやう何等かの方法を執られたいと思ふのである

◎警務總長の奉迎

古海警務總長は閑院宮殿下奉迎の爲太田副官を隨へ十一日午前九時十分南大門驛發安東縣に向ふ

◎立花中將歸任

西鮮機動演習觀戰の爲め同地方に出張中なりし立花師團長は演習終了せし爲め十日午後五時三十八分南大門驛著歸任せり

◎關釜聯絡船缺航

三回門司特電所報の如く十日朝釜山より門司入港の聯絡船新羅丸火夫に虎列拉の疑ある患者發生せしを以て同船は停船消毒を命ぜられたる爲同夜下關發の聯絡船は缺航する事となり從つて一般の郵便物も一日遲延すべし

◎魚市場營業繼續

仁川の秋田毅氏が經營し來りたる京城魚市場は今回其筋に廢業届を差出したるが同時に宇佐美三郎、同安三郎、同和三郎の三氏共同にて經營を續くることゝなり本月四日道長官の許可ありたるに付き九日京城府より指令を交附したり

◎消防手採用試驗

京畿道警務部にては十日午前九時より南大門消防詰所に於て內鮮人常備消防手の採用試驗を行ひたりき

◎司法官異動

五日附左の異動發表あり

補大邱地方法院慶州支廳判事 大邱地方法院判事 下村三四郎
補大邱地方法院判事 光州地方法院木浦支廳判事 前田英一
補大邱地方法院判事 公州地方法院判事 切山篤太郎
補京城地方法院判事 公州地方法院判事 江藤爲久(豫審掛ヲ命ス)
補公州地方法院判事 清州地方法院判事 坂口喜助
補京城地方法院判事 公州地方法院洪州支廳判事 熊島榮作
補平壤地方法院新義州支廳判事 平壤地方法院判事 神保信吉
補平壤地方法院判事 公州地方法院江景支廳判事 稻垣長七
補公州地方法院洪城支廳判事 咸興地方法院判事 奧田勝太郎

◎滿洲だより

▽演習と支那人

十月六日 大連支局報

南滿北部の牧野に於いて本月十三日より行はるべき師團演習は其の準備既に整ひ南北兩軍の編成も略ぼ成り星野中將を統監として其の統監部の部署も定まり演習に參加すべき部隊は夫々集合地に向け出發したるが鄭家屯、朝陽坡、長嶺子、喇嘛寺等日支兵衝突事件の起りたる後とて此の演習に對し支那人の中には妙な感情を抱き之を猜疑する者もなきにあらずされど今回の演習は兩三年前より研究せられ其の計畫は本年一月より着手せられたるものにて時局とは何等の關係なく又其の時局も鄭家屯事件を除き他は總て支那側の謝罪により解決を告げたる事なれば示威運動の意味にて斯る演習を行ふ必要もなき道理にて支那人も漸く其の演習の主旨を解し來れるものゝ如く多少偏見を抱くものあるも論ずるに足らずと云へり

人事

▲福井武次郎氏(新安州鑛業家) 九日夜入京山本旅館へ投宿
▲臼井木城氏(開城辯護士) 訴訟用にて十日平壤へ(十二日開廷の爲)
▲北村晴澄氏(馬山警察署長) 九日出發赴任
▲井上末次郎氏(振威警察署長) 十日朝赴任
▲中西喜久男氏(平安農工銀行支配人) 十日入京不知火へ
▲山田辰平氏(實業家) 十日夜入京朝鮮ホテルへ

◎南言北語

潛航艇ぢやないかと云へばイヤ潛航商船だと獨逸は逃げを張つて居たが▲今度と云ふ今度は愈々其の奧の手を現はした▲ロードアイランド州のニユーポートにニユーと浮き上つた獨逸潛航艇ユー五十三號はベルンスドルフ伯への郵便物を投げ上げると直ぐ出港したかと思ふと僅に沖合へ出ると通りかゝつた米國汽船を例の手で擊沈して置てブグ〳〵と沈んで其れッ切り行衞を晦ました▲まさか歸りがけの駄賃にツドンとやつたのでもあるまいが斯うなつて來ては愈々最ふ大西洋航路も危險になつた▲目下大西洋航行中の汽船は二十隻あると云ふから此奴が荒るれば危險千萬丁度羊の群に獅子が飛び込んだ樣なものだ▲扨て其れに對して何う云ふ處置をするのか目下大統領選擧運動の眞最中だから頗る見物だ▲ヒユース候補者がウヰルソン大統領の外交を大分攻擊しつゝある時であるから尚ほ更興味がある▲獨逸が荒れ廻り出す程其の國內の窮迫を證明して來るから大荒れに荒れる時が最後である▲猛獸一に發喰はすと手も付けられぬ樣に荒れ廻るがマア鳥渡其の樣なものだ狂い死にとは斯ふ云ふ樣なのを云ふのだらう▲內地新聞は內閣に關する外國新聞の批評なぞを大分書いて居るが遠交近攻の輿論もあるまい▲殊にお隣の排日新聞の批評などが大きく出て居る處を見ると餘程お近づきになつたらしい變手古なもんだヌ

□時事吟

霧晴れてふじや旭の昇る影 大塊
雲は飛散月天涯に輝きぬ 崖城
明け方の空や天下の秋晴るゝ 大痴
天上天下治まる天下秋晴るゝ 虎耳

□附錄

本日再築落成號附錄四頁

◎獨潛航艇規定遵守

聯合通信社華盛頓發電に依れば海軍卿ダニエル氏は大統領ウヰルソン氏に宛たる報告に曰くコンネチカット州沿岸に於て行動中の獨逸潛航艇は今日迄總ての規定を遵守したりと(華盛頓電報)

◎佛塞兵運送船沈沒

巴里來電=佛國汽船ガリアは佛塞兩國兵二千名を搭載航行中敵の水雷の襲擊を受けサルジニア沿岸沖にて沈沒せり三百名は救助されたり(紐育電報)

◎鮟鱇網漁業
仁川近海漁に終りを告ぐ

者十五隻となれり是等は鮟鱇漁業の目的を以て同月末より八月上旬に亙り仁川地方業者に出漁し住せし朝鮮人漁る相場は大三十八錢中十八錢小十錢にして後均十錢を唱へり、本漁場は從來專ら鮮人帆船及び中船の集合海に於て從業せる者ありしも目下虎疫流行の爲め殆んど休業の姿となり本年の鮟鱇網漁業は茲に終を告げん

需要あり稍々小康を促せしが市場取引は極めて沈靜なり市場戰況は[illegible]五圓四十錢玄米十一圓大麥四圓六十[illegible]

一箇年二十七萬餘圓に達せし其後新築する事に決し本月中に工事を了し十一月三日の立太子式までには完成擧式する方針なりと▲咸州農銀支店[illegible]民間鑛業家の多くは休業の現狀にて本年の如きは一箇月僅かに三千餘圓[illegible]

永興

▲新大豆の初荷 永興大豆走り物四十叺は七日鐵[illegible]一箇月早かりしと▲最近市況 客月中は未だ農繁期を脫せざる爲め市況自ら閑散を呈すべきに鐵道の開[illegible]

公告

左ノ不動產ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

◉京城府櫻井町貳丁目六拾參番地
一垈參拾九坪
一最低競賣價額金參百七拾圓也
右地上ニ建設
一木造瓦葺平家建本家壹棟(二)
此建坪七坪六合四勺參才
最低競賣價額金四拾六圓也
右同所
一木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪拾坪六合五勺
最低競賣價額金六拾九圓也
右不動產所有者 田村俊次郎
競賣申立人 菅元生

◉京城府安國洞七拾五番地
一垈百五拾貳坪
最低競賣價額金七百七拾六圓也(一)
右地上ニ建設
一木造瓦葺平家建本家壹棟(二)
此建坪四坪四勺
一木造瓦葺平家建本家壹棟(三)
此建坪參拾參坪七合七勺五才
附屬建物木造草葺平家建壹棟(四)
此建坪五坪
最低競賣價額金貳百貳拾壹圓九拾錢
右不動產所有者 洪忠晚
競賣申立人 安洙鉉

◉京城府光化門通百四拾番地
一垈百四拾四坪
最低競賣價額金貳千七百圓也
同所貳百拾參番地
一垈六拾七坪
最低競賣價額金壹千圓也
同所貳百拾壹番地
一垈四拾八坪
最低競賣價額金[illegible]圓也
右不動產所有者 [illegible]
競賣申立人 株式會社漢城銀行 外貳名

◉京城[illegible]
一垈[illegible]
最低競賣價額金[illegible]圓也
右地上ニ建設
一木造草葺平家建本家壹棟
此建坪[illegible]
附屬建物木造草葺平家建壹棟
最低競賣價額金四拾四圓也
右不動產所有者 [illegible]
競賣申立人 [illegible]

以上競賣期日ハ大正五年拾月貳拾壹日午前十時トス
京城地方法院

一古木材
右拂下ク詳細ハ十月十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

告京城分會員

閑院宮殿下御通過ニ付分會員ハ來十二日午後八時半迄ニ南大門驛構內分會旗ノ下ニ集合奉迎送セラルベシ
帝國在鄉軍人會京城分會

新刊書御案內

書名	著者	定價
日本美術史講話	黑田鵬心	特一八〇
國語漢文作文辭典	大町桂月	一三〇
故實と新式日本婚禮式	玉置一成	一八〇
投入と盛花挿し方(附小木流)	野口雄州	六〇
木村長門守全	碧瑠璃園	八五
歐米の諺と格言	大澤定吉	八〇
論語と算盤	澁澤榮一	一〇〇
禪窓閑話	菅原時保	九〇
一喝禪	南天棒中原	九〇
農村改革策	横田英夫	八五
株式大鑑	堀江安義	一二〇
古代より現代まで西洋哲學史	若宮義孝	一五〇
英國功利說の研究	中島力藏	一八〇
哲學的活眼 先見の明	久城潮風	四五
愛の奇蹟	三浦關造	八五
立志小說 人の兄	堀內新泉	九〇
歌集 玄海	吐田勝義	六〇
わすれな草	北原白秋	六五
繼の傳說	木村恒	五五
學生自習大辭典(中學校女學校入學試驗豫備書)	澤山著	五五

荷致候
大阪屋號書店
京城本町 電話六四〇・二〇八 振替京城二五七

平壤 栗卸
京城南大門外 池田商會 電話七五三番 振替口座九四七番

京日案內
普通一回前金一行 番外一回前金一行
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

◎社員募集 外交的手腕ある紳士を招聘す給料其他面談○京城長谷川町帝國公債信託株式會社朝鮮支部 504
◎借家を求む 日本建間數七八間以上旭町南山町壽町明治町黃金町及本町一二丁目附近を望(姓名在社) 498
◎婦人記者及女外交員希望者を採用す履歷書携帶本人來談あれ吉野町二丁目九一大日本新聞朝鮮支局 500
◎有給外交員及派遣員數集入用 希望者履歷書携帶本人來談あれ櫻井町一の七三 日鮮圖書普及會 499
◎店員募集 吳服商經驗有る者廿一より廿四五歲迄一名十四五歲の小僧一名 希望者履歷書送れ 春川大和屋 496
◎求職 農業鑛業に從事し恩給を有す卅一歲單身頑健なり廿一より廿六七迄心身確實なるを求む姓名在社 490
◎金融 月收の御方へ信用秘密融通 便宜立替御報伺又御來宅 大和町三 不老湯前橋下ル 起 491
◎貸家 日本建二階家間數五間湯殿水道電燈付三井物產の附近寫眞業町四丁目中村(電一九九七) 489
◎店員入用 二十歲以下三名入用至急申出べし但保證人を要す 志望者 京城吉野町 岩城商店 476
▼古本誠實買受は絕大の信用ある 本町二 電二五二七 ウツボヤ書店 427
◎古本熱心高價買入 ◎是非御試賣を乞 ◎電話二七八一番 ▲御報參上 ▲本町四 ▲書肆群書堂 437
◎古本 高價買入 京城本町三丁目 東京堂書店 446
◎貸家 日本建溫突付三室五圓 三坂通 官吏向の別莊的 管理者 香龍山印刷局先畑中 296

店員募集 二十五六歲より二十歲迄の者數名入用希望者は至急來談あれ但し市內に確實なる保證人を要す 永樂町二丁目 播本商店 501

讓店 市內目拔の場所、有利なる玩具商、今般歸國に付き讓り度し價百圓餘にて讓り度し(姓名在社) 502

恩給 年金 月利壹分即金 確實掛引なし秘密嚴守 京城若草町 中央郵便ポスト前 西村商會 497

宅地放賣 市內笠井町市區改正道路に沿ひ官吏會社員商店向の宅地數ケ所あり希望の方は差配人 南大門通 三輪商店 506

土地買入 京城一里內外に五町歩より十町歩迄畑又は未墾地を買入たし希望の者は至急申込あれ 南大門通 三輪商會 電一九九五 505

◎京城春川間每日午前八時出發 京城春川間自動車賃金片道四圓 南大門通一丁目 廣橋自働車 電話二一九番 428

○帝國公債信託株式會社朝鮮支部社員 金鍊洙、鄭箕鎔、朴正善、金永世、崔容熙、金鍊壽、李範勳、鄭亨鎭、韓仁教、金衛鎬、金相顯、全錫、李泰範、森繁、以上解職す 503

轉居 南山町二丁目廿六番地 日鮮信託社 主務 金正淵 電話二六二番 478

鑛業及信託業務を專念御取扱可仕候御用命の程希上候

繩叺莚用品販賣 京城西崎町 渡邊商店 電話一四五三 振替京城八二〇 471

西朝鮮機動演習觀戰記

十日午前一時沙里院にて 三好特派員發

▲喊聲山野に震ふ 市川將軍自ら陣頭に馬を進む

歩兵第三十九旅團秋季機動演習の最終日たる十日は早朝より架設敵旅團演習の沙里院の平野に行はる、目なり此の日前日來の妖雲全く去つて清爽の水秋晴の野に蕩ちて消し、東軍は混成第三十九旅團を沙里院方面に急造して同地を占領し以て軍の集中を掩護し且つ海州より沙里院方向に前進する軍師團（假想）の

載寧江右岸の地區

に進出するを容易ならしむるにあり然して旅團は九日夕其の歩兵先頭を以て中成陵に達し該地及び其の以西以東の地區に宿營したるが旅團長は諸兵連合の敵（假設）が平壤方面より南進し九日正午以來沙里院に到著し該地附近に陣地を占領し海州師團（假想）は同九日夕新院に到著し續いて沙里院方面に前進する豫定なりとの情報を得て歩兵第七十七聯隊第二大隊を前衛としその他を本隊とし右側衛には歩兵第七十八聯隊二大隊を之れに先ちて前衛は十日午前七時半宿營地を發して行進を開始したるが本隊は前衛の後方約七百米突の距離を置きて行進せり、而かして沙里院東方約二十丁の住宿洞に敵の

前衛約二個中隊の

あるを騎兵斥候並に將校斥候の情報によつて之れを知り亦沙里院附近に敵の三箇中隊のあるを知つて之を攻撃すべく歩兵七十七聯隊二大隊歩兵七十八聯隊全部を鐵道線以北の地區に展開し歩兵第七十九聯隊（假設）一大隊は線路以南に沿うて前進し午前十時總攻撃に移り停車場附近に於いて突撃戰を行なひ十一時半演習中止の命令下り之れを以て旅團演習を終りそれより市川統監、立花師團長の講評ありたり尚ほ當日は好天氣の事とて沙里院停車場附近は見物の內鮮人夥しく蝟集し本日午後三時より沙里院俱樂部に開催さるべき宴會に列席のため來著せし黃海道長官も早朝より演習地に來り觀戰したり

▲九日の戰況

八日午後沈村附近の敵を擊退進擊を續行しつゝ沙里院を經て馬洞方面に前進したる野島支隊の西軍は同日夕刻敵が中成陵の西方

▼高地を占領 せると同時

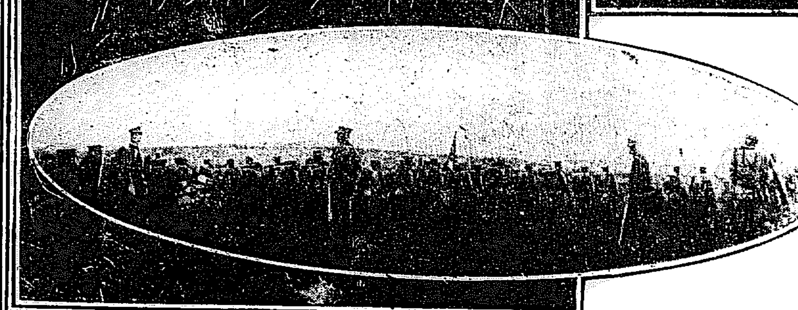
に西軍は參村を占領するに至れり然して東軍は時を移さず占領高地に防禦陣地の構築を開始したるに對し西軍は翌九日拂曉を以て攻擊を開始すべき豫定を以て敵情並びに地形の偵察を行なひ同夜は兩軍とも相對峙しつゝ同地に露營し九日未明を俟つて西軍より中成陵の敵に向つて猛烈なる攻擊を開始し

▼激戰約卅分 の後東軍は

一時退却したるも增援隊を得て逆襲を爲し遂に西軍を擊退するや中成陵下の大平野に於て東西兩軍の突擊戰となり午前七時二十分を以て『擊方止め』の喇叭朝霧を破つて全軍に響き渡るや各隊一齊に行動を中止し之を以て五日以來晝夜續行にて繼續中なりし第三十九旅團聯隊對抗演習は終了したり續て市川統監は兩支隊に

▼休養を命ずる と同時に

池內、野島兩支隊長以下兩軍の將校全部を統監の所在地なる中成陵高地に召集し約二時間に亙り講評を爲し立花師團長亦一場の訓示を爲し右終りたるは午前十一時三十分にして朝霧烟の如く立罩めたる山腹より濛氣を衝いて殷き渡る砲火の響き、吶喊の聲は物凄きばかり山野に谺して秋の朝の靜寂を破り勇壯の氣天地に漲れるの慨あり



（右上）中成陵の講評（左上）統監旗下の立花、市川兩將軍（下）軍旗と豫備

酒の値上 一升につき金十錢也

左黨の恐慌＝酒屋さん說明して曰く

朝鮮酒稅令が九月一日から實施されて今迄無稅であつた移入酒が一石五圓の消費稅を課せらるゝことゝなり其結果飲酒家は一升に付いて五錢白銅貨一個多く負擔することになつた勿論これは酒類販賣業者の收入を增加することにはならず政府の歳入を增した丈のことである併し是にも角にも何によりも

▲樂しみな晩酌 の德利の升

目に逆影からぬ影響を及ぼしたことは事實で亭主の機嫌を燗德利一本で取らうと云ふ世話女房の胸算定を狂はすに至つたのである、所でまだ一月と立つや立たざる本月十日から京城酒商組合は更に五錢の値上を廣告した前の値上げは消費者が政府に收める稅金の爲であつて今度の値上げは販賣業者の懷中に收まることゝなるのであるが要するに左黨に取つては一人前一升につき十錢の値上をされた割合となる今度の

▲値上の理由と云ふものを

某販賣業者に聞いて見ると……內地の釀造家から來る酒は夏分であると運搬の途中腐敗の虞があるので火入と云つて酒を燗してから賣出す、すると小賣商人の手に渡つた時には冷酒となつて一樽（四斗五升）につき二升位の斗目が減ずるからして其割合に卸値段を安くし之と反對に十月頃から翌年の三四月にかけて卸す酒は冷卸と稱して冷酒のまゝ賣買される爲めに夏分の値段から見れば一圓乃至一圓五十錢見當の値上をすることになつて居る――値上はするが桝目が多いのだから實際は値上でない樣なものだ――これ等は酒類業者に取りては年中行事のやうなもので

▲珍しくもない のであるが

今年は特に一樽につき二圓の値上げを內地の製造元から宣告されたので實は小賣業者も吃驚して止を得ず値上廣告を出したやうな次第である然らば內地で此樣な突飛な酒價の暴騰を來したかと云ふに第一昨年の遣入期の天候が不順で劣等酒が多かつた所に戰爭のため歐洲が好景氣で例年ならば酒の賣行きの多い所を反對に上酒の需要が激增したゝめに灘だの東京大阪などの釀造家が十駄（七石二斗）について三四十圓と云ふ値上を實行することゝなつた爲めに延て今回の移入酒

▲第二回値上げ となつたの

である更に之と關連して朝鮮釀造酒も一圓方の値上げを實行しようとして居る兎に角今年は左黨に割の惡い年の樣であるがそれかと云つて需要總額を減ずる樣なこともなく好景氣の影響と云へば先づ〳〵ご芽出度い方でしようよ、と

今日から始まる藥劑師試驗

受驗者のいろ〳〵＝年齡は三十頃まで

朝鮮に於ける第一回の藥劑師試驗は十一日から廿日まで總督府醫院の構內なる京城醫學專門學校に於て施行される、受驗者は內地人十五名に鮮人三名合計十八名であるが試驗科目は物理學、化學、藥用植物學、生藥學、製藥化學、衞生化學、藥局方等の學說から分析學、藥品鑑定、製藥化學、調劑學等の

▽實地試驗 も行はれる、そ

れで何分朝鮮に於ては這回が初めてのことでもあり隨分篩にかけられる人が多からうとの見込である、受驗者の多くは內地の私立藥學校卒業者が多く鮮人の三名は何れも京城長貴洞藥學講習所の卒業生である、尤も內地人受驗者の中には以前地方法院の書記に居た人もあり

▽官吏出身 の人もあるが年

齡は多く廿歲から三十歲までの人が主になつて居る、這回の藥劑師試驗は將來朝鮮に於ける藥學普及の爲めに極めて好結果を齎らすとは勿論受驗者の方でも及第すれば一廉の資格も出來且つ自ら藥店も經營されることゝなるから追て鮮人の受驗者が增加する見込である、目下朝鮮に於ける藥劑師の

▽就職先は

主に各道慈惠醫院、各道警務部衞生試驗室、各地分室役所、總監部衞生試驗室、海港檢疫所、各藥局等が多く猶ほ朝鮮の地方に行けば將來何程でも開拓の餘地がある、これまで鮮人の藥屋は一般に洋藥の智識が無くまた醫生の如きも草根木皮の外は皆目藥品に對する智識を缺いで居るから充分

▽藥品取締 が能きなかつた

のである、これから追々に鮮人の立派な藥劑師が出來て漢藥と共に洋藥の應用を講ずるやうになれば一般鮮人の爲めにも幸福であらう猶ほまた長貴洞藥學講習所に於ては是れまでは一般內鮮人の藥屋に對して藥學の智識普及を圖る積りであつたが這回藥劑師試驗の制度が出來たから一般受驗準備の爲めに私立藥學校に改めたいと計畫中である

四汽船の大消毒

門司檢疫所大繁忙

十日釜山より下關に入港の關釜連絡船新羅丸火夫石川大一（二一）は虎列拉の疑ひあり目下檢便中なるが一方郵便物のみは午後一時陸揚したり萬一眞正と決定すれば船客全部五日間の上陸を禁止するべしと尙十日午後大連より門司入港の郵船高南丸は大連にて船長外三名の保菌者あり下船を命ぜられたるも一部消毒をなしたるに過ぎざれば門司にて消毒履行の上十一日解纜となるべし其他備後丸及び馬尼羅より來れる英國汽船等の大消毒にて門司檢疫所は頗る多忙を極む（門司特電）

北鮮演習終了

六日より舉行せし北鮮機動演習は十日終了し部隊は全部羅南に歸落せり大村少將は演習參加將校及び官民を招待し慰勞の宴を催す咸南部隊は十二日より歸還の途に就く（清津特電）

○松原總長歸京 京城醫學專門學校長松原氏は去月廿七日以來北鮮及滿洲平壤、咸南方面巡錫中のところ十日午前着の列車にて無事歸京せり

○井上氏と女子技藝學校 私立京城女子技藝學校長井上敬二氏はこれまで京城公立高等女學校教諭兼任のところ這回高等女學校を辭し今や私立學校の經營に當ることゝなりたり猶ほ技藝學校內に設けられたる私立京城中等夜學校も亦同氏經營に當るべしと

コレラ彙報

▲忠北に虎疫患者無し 忠清北道に虎疫患者一名發生せる旨新聞紙上に散見せるも同道には虎列拉患者一名も無き旨同道警務部より申込ありたり

▲仁川は終熄か さしも猖獗を極めし仁川の虎列拉も八日以來一名の患者も發生せず全く撲滅したるやの感あるが十七日の初發以來の發生數を掲ぐれば左の如し

	朝鮮人	內地人
十七日	三	〇
十八日	九	〇
十九日	一一	〇
二十日	二一	一
廿一日	一七	〇
廿二日	五七	二
廿三日	三〇	四
廿四日	三八	二
廿五日	六八	一
廿六日	二六	二
廿七日	三三	二
廿八日	二一	三
廿九日	一六	〇
三十日	八	二
十月一日	六	一
二日	一一	二
三日	一四	一
四日	九	〇
五日	二	〇
六日	一二	〇
七日	五	〇
八日	〇	〇
九日	〇	〇
十日	〇	〇
合計	四〇六	二三

然して此れを町里別にすれば仁川府內にしては新花水里五十五、花平里百十八、松峴里五十八、松林里二十一、金谷里六、牛角里十三、龍里十一、內里七、外里九、龍岡町四、萬石町十二、柳町四、花町十五、濱町三、新町十六、栗木里一、房町一、花房町三、支那町一、宮町路上一、港內船舶中一二、其他にして富川郡五十七名、合計四百二十九名なりし

▲尙州地方經濟近況 方一般に閑散期なれど本年は水害復舊工事の爲め特種資金の……入三步五厘を示しつゝあり又た大正三年まで鑛山より産出せる全額……あり五日夜有志郡廳に會合協議の結果四百五十餘圓の豫算にて……を定なし今年中は基礎工事に著手す……場所へ移轉すべく既に地所も略ぼ選……佳良にして初荷の廻著も例年に比し……永興地方一般に大豆の出來栄は頗る……大豆の出廻り期に入れる爲め好影響を受け市況案外活躍を告げつゝ

鮟鱇網漁船は約二十五艘なりしが七月中漸次歸國せる者十艘、居殘れる……末迄に一隻の水揚高多きは四百八十圓少きも百圓を下らざりき同島に於……に入り通漁船は大概歸國し鮮人亦た各地に散在し仁川土著船の仁川近……

梅毒素人療法 注射に依らざる安全簡易なる
說明書無代進呈 ハガキにて申込め
當所發表の梅毒新療法は近時醫界の趨勢に鑑み歐洲名家の新學說を研究應用したる用法極めて簡易なる自宅療法の最も進步したるものなり本療法に依るときは身體に危險を及ぼさず新陳代謝の生理作用に伴ひ病毒を驅除せらるゝ他の療法に依り難治の病人も試みよ必ず効果を得べし
東京市本所相生町一の十 東京藥理研究所 電話本所三二九五、三五〇四

ぜんそくおうたん に惱む人に不思議に治る藥をお知らせす直ぐ申込まれよ 東京神田小川町一 淸水齋八

可愛い御子さん方の 小兒に宇津の救命丸
むし氣、かん、ちゝ吐つ、ひきつけ、夜なき等の良藥
本舖 下野國芳賀郡高根澤 宇津本店 東京麴町區飯田町 宇津出張店
藥價 十錢、二十錢、三十錢、五十錢、一圓、二圓、三圓、五圓

十二指腸蟲病 說明書は往復葉書にて申込次第進呈 大邱府東城町 電話四六三番 水田藥院

蛇印アンチピリン丸

かぜねつ最良藥 早く治る藥 よくキク藥
●さむけ出で發熱し、頭痛し●手足だるく、水ばな出る時に本劑を服せば不思議の効あり（價十錢、十五錢、廿五錢）に世物有り其の商標に御注意
本舖 大阪東京 丹平商會

○飲み過ぎ○食過ぎ○消化不良○りうゐん○胸の痞へ○胸の痛み○慢性胃弱諸症に妙です ●各藥店にあり
本舖 大阪江戶堀 猪飼史郎藥房

內科 小兒科 入院隨意 京城明治町（元[illegible]學校跡） 中島醫院 院長 中島貞信 電話三七八番

日韓書房 新版報告
大內暢著 人生の快樂 定價一圓三十錢 送料十二錢
中原鄧州著 一喝禪 定價九十錢 送料十錢
福本日南著 清教徒神風連 定價一圓廿錢 送料十二錢
前田慧雲著 力の生活 定價一圓 送料十錢
羽太鋭治著 女の肉的研究 定價九十五錢 送料十錢
京城本町二丁目 振替朝鮮一四五 電話二一五番

當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切に取扱申候 明治三十六年設立
資本金 參百萬圓 京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行 電話 長二六四六番 二三九番 一八六二番 振替京城二一〇五
支店所在地 水原、平壤、大田、開城
出張所所在地 南大門、鍾路、東幕

醇良清酒 白鶴 仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

診察時間 自午前九時至午後六時 初診の御方は可成午前中 京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前） シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

女鳩

渡邊默禪

（一二八）切齒

お秋は更に詳しい話をした。

『そいつがね、住江さん。獨逸だか佛蘭西だか、私どもが見たんでは何處の國の人も同じやうな顔に見ゑるから、些とも分らないんですけれども、二十四五にもならうかといふ年形好で、帯のついた茶色の丈の短かい服を着て、學生帽のやうなを冠つて來たんです。鷲ツ鼻の縮れツ毛の目玉のいやに青いところなんか、私どもには見たばかりで可厭になつちまひますけれど、あれでも好い男なんでせうかね。秀子さまは大層お氣に入つた樣子で、麥酒のお酌をしてやつたり、莨を吸ひつけてやつたり、大變な待遇樣でしたのよ』

住江はいよ／＼胸を惡くして

『ぢやあ、御一緒に御食事でもなすつたんですか』

『はア、爾うなんですの。洋食が出てそれからお酒。メドックだのウヰスキーだの、いろんな御注文が出ましたのよ。お君さんが私の所へやつて來て、ちよいと面白いから覗いて御覽といふもんですから、お廊下先へ行つてちよいと戸の隙間から失敬しましたら、そりやあ大變でしたの。みんなが酔つぱらつてね。髮の長い人は鶯の鳴くやうな聲で、何ですか外國の妙な唄をうたつてゐるし、秀子さまと異人さんは手を叉み合つて、盆踊みたいな妙なダンスを演つてゐるし、ハイカラさんはピアノ、輝子さんはヴイオリンでせう。その騒ぎつたら有りませんでしたのよ。それから踊が濟むと抓るやら引かくやら、五人でもつてキヤツ／＼巫山戯廻つてゐるのが、まるでお花見位しくでした。そのうちに此方で笑ひ出したもんですから、輝子さんが聞きつけて、覗いてゐるのは誰だツと怒鳴つたもんです。あら、失禮なツて秀子さまがお立ちのやうでしたから、私どもは泡を食つて逃げて戻りましたの。當家さまのやうなお堅いお屋敷にも、あんなことが有るもんでせうかね』

住江は呆れて息を呑んだ。

『それで皆な歸つたんですか』

『はア、ヘゞレケに醉ぱらつて立てないやうな人もありましたの。それをお孝さんや皆さんが介抱し／＼お車に乘せ送り出しましたけれど、輝子さんだけは遲くなつたから泊ると言つて、奥のお座敷に秀子さまと一所に……』

『わツ、泊りましたか』

『はア』

『まア、驚きましたね』

最う恁うまで增長すれば亂脈である。手もつけられんほどに荒み切つた秀子ではあるが、今までは流石に他人のおもわくを顧みて、交際も同性の範圍だけに止めてゐた。爾うしてゐるうちがまだ幾らか脈があつたのである。それだのに今は異性——而も如何はしい遊蕩兒？たしかにそんな不眞面目な青年らしく想はれる男を一度に三人までも引入れて、酒の香、肉の匂ひの爛れたなかに、母と子の差別もなく狂歌亂舞のたはれはてた獸樂を追うやうになつた。輝子の誘惑が彼女の全身を囚へて了つて、その目を盲にし、その心に釘づけた結果とはいへ、自暴も無智もこゝまで來れば極度である。彼女の母はどうならうと夫は關はりがない、又彼女が何處まで墮落しようとそれも頓着のないことである。只事情を知らぬ世間の人は——邸内の多くの召使も——やはり秀子を大河内家の令孃として見てゐる。その令孃にさうした淺猿しい振舞があつたなら、それも何れへ惡評の矢が立つであらう。父の子爵の名譽、一家庭の神聖な風儀、凡てが傷けられるではないか。その手痛い疵をうけさせたくないと思へばこそ、自分がかくまでに忍んで泣いて、そして悶ね苦しんで、犠牲になつてゐるのである。最う此上忍び切れない。あゝ何として忍ばれようぞ。

住江は恁う思つて切齒した。きりきりツといふ音が口に立つと、據のやうな烈しい搐が渾身に波立たせて、脊汗が泡の如く額に滲んだ。

『あツ、く、く、苦しいツ。お秋さん、お、お、お水を下さい。』

○秋晴偶會 大正五年十月七日

容堂

埋葬や皆默し居て鵙高し

秋晴や傘さして干す萩の道

秋晴や跛足小犬に縄襷

○ たかし

いたはれば泣きさる兒や鵙の丘

虎疫怖や汲まぬ井戸蓼の花咲ける

薪數へて受取る下女や秋晴るゝ

○ 田打夫

鵙鳴くや危く窺く岨の展

錆鍵を石に磨ぐや蓼の花

門樓の落暉に人や鵙鳴ける

新刊紹介

▲心の饗（水野葉舟編） 新體詩の代表作數百編を蒐集したもので古くは北村透谷より島崎藤村あたりまでの代表作を集めて明治大正の新體詩史とも稱すべきものである（四十五錢東京神田美士代町三の六耕山堂）

▲三角法學び方（考へ方と解き方）『藤森良藏著』受驗的數字改革論者たる著者が受驗準備者として將た文解式特論萬能主義を排して根底ある合理的なる數學を智法として編纂せるものにして各人の智能に基き正當なる考へ方に依りて問題を解決せんとするは最も學修に効果あると共に數學上の興味を喚起するに力あるものとす且本書は中學程度と高等程度との聯鎖たるべき程度の問題を選擇せるを以て入學準備書として最も好恰のものたるべし（六十錢東京神田區北神保町 三山房）

▲日本印刷界（八三） 廣告、裝飾、圖案、印刷界に於ける重鎮たる本誌は號を追うて益々内容の整頓せるを見る本號の重要記事としては大阪市吉原良宗助共山寺の漫陳列と廣告、小田

▲居の研究劇書法、廣告の文章と挿畫、印刷物研究、倶樂部等にして其他幾多の記事總て商工實務家の好資料たらざるはなし（廿七錢大阪市東區南本町二丁目文社）

▲戀の傳說（木村恒著） 松前乙女、花子塚、耳切屋敷等二十八編及び稚兒ヶ淵、夜叉石、小石供養等二十編の附錄より成り總て全國各地に於ける奇しき戀の傳說を著者の流麗なる筆に描出せるものにして濃艶なるあり悲慘なるあり可憐なるもの凄絶なるもの其興味津々として卷を掩ふ能はざらしむ（五十五錢東京市麴町込千駄木四九四方堂）

▲フースヒー（十月號） 十五日發行の同誌は高橋主筆滿鮮土産として朝鮮の大陸政策を論じ日本外交の失敗を痛憤す最近醜聞事件の裏面觀其他何れも痛快なる文字

▲相談之友（十月號） 五錢東京市小石川區千駄木町一八六共社

▲國柱新聞（十月研究號） 七錢東京市下谷區櫻木町一師子王文庫

▲國民タイムス（十月號） 十錢東京市本郷區森川町一共社

▲工業生活（十月號） 十錢東京市小石川區表町一〇九大日本工業學會

▲女の世界（十月號） 九月號に『女の解放』を掲載して評判となりしが本號には新しい女四十六人の天分、學問、容貌、品行等十二項に亘る採點の研究と題して『舞踊の必讀文字、寺山修司の女優の生活』は例に依つて奇警、其他揚子の『オペラ鈕』は例に依つて奇警、其他揚子の『女優の生活』はトルの野澤開、淺美子の『関秀才の寫眞の藝術』安成くら子氏の小説『おふさ』は堀の演劇に關するもの等あり『秋夜長の好讀物なり』（二十三錢實業之世界社）

▲自分の長屋は數年來空屋になつた處ですが此頃移つて見ますと二階との中間にテンの樣なものが二三匹居りまして之れが夜となくドン／＼大騷をして困まつて居りますまるで其足音ときては大犬でも馳け廻る樣です夜睡られません處が夫れ計りでなく夜中に時々座敷に這つて來て狐や狸の樣に人を欺し又種々なる人の形となつて時ならぬ人を驚かす事も有り其れが爲大騷をしたのです一人許りでなく家人の多くはこんな臆病であるから人を欺す事は事實です愈々閉口致しますが何んとか之れを征伐する方法はないでせうか（京城在生）

▲本町二丁目と三丁目の境の四辻上手は總督官邸の通り下手は永樂町通行の頻繁な處である其の四辻の角に大變な大きな大賣出しのゆれ看板を中空に吊し上げて居る成程廣告には結構ならんも通行人に取りては斯る假の如き大看板が中空に懸りては行手の見わたしが付かず自轉車乘などは格別に困難なり（公徳生）

▲例に依り菊花品評會開催は如何相成居り候哉本年は天長祝日相續き立太子御式も有之十六花竹の園生の御繁昌を祝せらるゝ一の方法としても誠に結構なる事と貴社の御催を期し居り候次第一日も早く御發表相成度候（御成選人）

▲本町の中流の吳服屋で英ネルと書いてある六十錢の釣市を買つた番頭君曰く『此れは一尺代でございます』とそれで店を信用して買つて歸つてよく調べて見ると半毛であつた英ネルにも半毛があることを初めて知つた（アテハヅレ生）

商況

下ノ關朝米（電話）

大阪期米（十日）

安値	……	一三、八九	一四、二五
止め	……	一三、五四	一四、三三

六錢の入…底値…當地當中出來不中先十一圓八十七錢と…寄付たるが氣乘り薄にて六錢と…辷りて…連續…の儘六、七錢を採み合…

▲市場閑散 …餘石等に對し①二千餘石、②二千餘石等にて他は小口商内であつた …此相場の…て大阪の…

▲現物界 地…玄米十二圓七十錢七十五錢…十二圓七十五錢…

十日の十一月限 …付 …十一圓八十七錢 …

十月 …六千四百五十石

十一月 …七萬六千百五十石

十二月 …二萬四千二百五十石

…の叔父林…が資産あるより叔父の地所を買受けたるが如き文書及び…虛…

…判決を受けたるを不服とし京城覆審法院に控訴せり

●苦…で自殺 京畿道…

わきが治療 民劑

わきがは良縁出世交際を妨げ人に不快を感ぜしむ即刻治療あれ

消臓散は幾多經驗の良劑故慢性のわきがも治癒せしむ詰藥効なく困難の人直ぐ試み給へ 實價輕症用八拾錢 重症用一圓 用錢 特製二圓半 送料各四錢 郵券不可 著書金直送る 本家…名古屋廣小路通…小林盛大堂

胃病と惡疫（コレラせきり）

佐多博士の說にコレラや赤痢の微菌でも胃が强壯で、胃液が完備して居れば、決して傳染の恐はない、何せなれば、胃液中には鹽酸といふものが含まれて居て强烈な殺菌力のあるものの故、コレラ菌でも十數分間に殺すから、常に健胃を圖り、時々健胃劑を用ゐるが宜ひと、健胃劑には、ソレ陸海軍御用達…製藥の胃活

胃病良藥 胃活 The Ikatsu

定價（胃活錠）一圓、一圓五十錢、四十錢 （胃活）（八十錢 六十錢 四十五錢）

請賣 全國各藥店にあり 本舖 東京…大阪…山田安民室藥房

月やく（藥妙知らず） 困りの方は郵券三錢封入御問合せあれ 京城黃金町三丁目 山田志…

産婦人科 本院 京城旭町一丁目 診察 午前…午後… 分院 龍山漢江通（柳町）… 中央婦人病院 院主 衣笠 …

夜方細腰錢 せんきせんやく腰痛の良藥 登錄商標 定價六錢 十八錢 四十錢 大阪市西區新町二丁目 本舖 西田知三郎 代理店 京城 新井藥房

安いが效力は貴い薬スキ試すは此の藥 今試す 壹劑ズンキク 滋強丸 男女一劑有効の證 腦腎陰 …全國各藥店に在り… 東京築地二タイガー商會

世界の進歩

學問中最も進歩せる醫學は遂に白色淨血劑を創製す

——ニキビ色黒患者を救濟す——

諸君の學問の中で最も進歩せるものは無論醫學で、殊に近代醫學の進歩に至りては愈々細より細に入つて其の專門分科は殆んど斷はり切れない程ですから、全く素人などの如きは其處にも達し、從來不治と稱せられた腫病患者も今では不治でない事が明になり、又彼の激烈な流行病として世人を戰慄せしむる處のコレラとて必ずしも難治ではなくなつた。

然し研究は常に必要を先にするから苦痛の大きい難病や流行病は研究するもの多く從つて治療法の發見も早かつたのであるが、只顏面に生ずる丈のニキビ色黒など研究は全く後れて居たのである然し人生の一大事實といふ點に於てはニキビもコレラも同等の價値ある筈で、之を等閑に附したのは醫學者の怠慢である殊にニキビは人生の春にも譬へつべき若やかな顏面を代なしにして了ふものである。甚だしきは十數年も連續して顏面一面に生じ漸次劇烈になる迄遂に暗褐色の瘢の樣な汚い凹凹を生じ一生醜い顏となるのである。然し絕えず進歩して止まない醫學は最近に驚ろくべき一大理論を發表した。それは即ち從來單なる外面的病患とのみ思はれて居たニキビ吹出色黒等の原因は腸内消化作用の異常に發生する毒素である事が判つた。從つて其治療法もある塗布藥では後から／＼と無限に發生するニキビ吹出を消滅せしめる事は出來ない。色の黒いのも亦血液が濁混つて居るのであるから、毒素を驅逐して毒血惡血を淸淨にしなければニキビ吹出を全治して眞正に色白くなる事は出來ない。是は是非とも理想的な内服藥で毒素を驅除せねばならぬと云ふのである。我國に理想的な内服藥のなかつた事は一般の遺憾で有名なる神田の博仁房に於てはこれがために數人の學術經驗に富める學者藥劑士を聘して種々苦心を重ねて研究した結果遂に卓效ある新劑を創製し「白色淨血劑ベーリン」と命名して、之を世に發表しますと全國の大新聞に湧くが如き大好評を博したのである今左に同劑効能の一班を紹介すれば

一、ベーリンは最も新らしき學理に基き化學上の新智識を製劑術に應用せる新劑なれば巧妙なる化學作用にて毒素を分解し惡血毒血を淸淨にす。而も全然無害也。

一、從つて血色を鮮明にし白美にしニキビソバカス油顏赤鼻等の皮膚病を根本的に一掃し再發の惧れなし。

一、ベーリンの主成分は又胃腸を整へ新陳代謝の機能を速進するを以て持藥として用ふれば身體の各機能を旺盛にて眞の健康美を發揮す

一、其他常習便秘を治しノボセ性にてフケ多き髮毛脱落等に驚効あり

同劑が一度世に現はるゝや東京の各貴顯紳士男女學生間に花柳界に大歡迎を受け殊に發表と同時に博仁房にては數百萬の試藥を無料にて施與せし處「同劑の効能顯著を賞讚せる感謝狀は日々數百通に達したのであつたが、今や又吹出物色黒の季節になつて來たので、同店に於ては又々

試藥特別大提供

新に行して治く同病になやむ人々を救濟せんと企て居るなれば京城日報を讀んで居る人は僅か二十五錢丈を郵替で振替でも或は五厘から二十五錢迄の收入印紙（若し無ければ郵便切手でもよい）で送附すればベーリン三十粒入一個に有益な皮膚病新治療法を無代で送つて呉れる此好機を逸せず直に申込んで美男美女となられよ

東京市神田區錦町六十九番地 博仁房（…電話下谷二六九〇番）

名著（新刊）

◎地理教授の方法 牧口常三郎 一五〇

◎内容の研究 …

◎刑事訴訟法 …

◎歐洲戰後の財政 …

◎刑法判決例 …

◎改訂增補西洋史眼 …

◎株式大鑑 …

◎最新式辭と演說 …

◎祇園書簡集 …

◎後の淚 …

◎茶話 …

◎お夏清十郎 …

◎八犬傳物語 …

◎大僧正天海 …

◎法學通論 …

◎フオードの社會學 …

◎朝鮮語學讀本 …

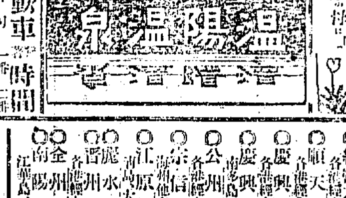
◎露・國研究 …

◎强い身體を造る法 …

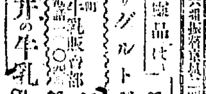
◎朝鮮巡査受驗準備 …

日韓書房 京城本町二丁目 電話…

關節にして避暑避寒に宜し 大邱浦項間自動車 時間 …大邱…浦項… 大塚農場自動車部 大邱出張所 電話二一七番



滋養・健康の特…「ヨーグルト」 荒井の牛乳 京城黃金町 荒井牛乳販賣部 電話…



汽船釜山出帆廣告 門司、神戸、大阪行… 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆 …杉山回漕部

日本郵船仁川出帆 …

大阪商船仁川出帆 …

朝鮮郵船出帆 …

共同汽船仁川出帆 阿波共同汽船株式會社 …